評価対象	年度	平成:	23年度	事務事	業評	価 表	<一般用>					様式1
事務事	業	7/12	310 事務	治山事業				担	当	部	農林水産部	
 П	ド	742	事業名	冶田 尹未				担		誤	林務水産課	
政策:	名	1	快適で魅力	あるまちづくり				グ	ル	ープ	林務グループ	
施策:	名	4	防災対策の	推進				電	話:	番号	45-5111	
基本事	業名	2	災害危険箇	所の整備				内	線	番号	2361	
会計		一角	2会計				□ 単年度のみ					
予	款	6	農林水産業	費		事業期間	■ 単年度繰返 (開始 ²	年度	Ę	S 3'	7 年度~)	
予 算 科	項	2	林業費			24)1b)	□ 期間限定複数年度	(~	,)	
目	目	4	治山事業費			根拠法令・	森林法•地方自治法					
	コード	742	310			条例等	林怀仏"地为日伯仏					
関連計	画											
1. 現状报	巴握	(1)事	務事業の目的	と指標 <d< th=""><th>o></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th></d<>	o>							

	科具		2 杯業質	Č			□期間	艮足孩	致年度(~)
	目目		4 治山事	業費		根拠法令・	森林法•地方	白治洪	<u> </u>			
]	ド	742310			条例等	TANTIN	□₩₩	•			
	関連計画											
1.	現状把握	(1)事務事業の	り目的と指標	<do></do>				ा स्ट	3年度実績	E	
1	手段(事	事務事	「業の概要)						十八八	3平及天啊	Į.	
	山事業の実	施(構	造物・掘削・植	直栽等)により山	林等の保護を図り、2	公共施設及び	人家等を守		県単補助治	州事業4箇	所	
					養費が80万円以上800		っって、次に該	主	県営県単治			
					補助70%、住民分担10 養費が80万円以上800		って 次に該	+-				
当す	るもの。(公	共施詞			は用排水施設の保護・			活動	平成2	4年度計画	Ī	
担、	住民分担な	:L						到		·		
									県単補助治 県営県単治			
2	活動指標	(事系	8事業の活動量	量)			単位		22年度	23年度	24年度	25年度
			0.00	Ε,					(実績)	(実績)	(見込)	(見込)
ア	施工箇所数	(箇所		5	7	6	6
イ												
ゥ					_							
	4 名	(誰、何	可を	(4) 対象	性婦 (③対象の)	大きさを	当片		22年度	23年度	24年度	25年度
	刈 家	対象に	にしているのか	4)		きず指標)	単位		(実績)	(実績)	(見込)	(見込)
			水路・河川・建 1・人家・山林	保全対象	数		件		12	20	20	20
1												
ゥ												
		(対象:	た		比価 (⑤意図の				22年度	23年度	24年度	25年度
(5)	息 凶		どうしたいのか			を表す指標)	単位		(実績)	(実績)	(見込)	(見込)
ア	森林崩壊出公益的機能		早期復旧により 復を図る。	復旧箇所	<u></u>		件		5	7	6	6
イ		1	XCD CO									
ウ									a a fee ptr	b- ctr	a i be ptr	
7	結果		な結果に び付けるのか)	8 上位		果の達成度 表す指標)	単位		22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (見込)	25年度 (見込)
ア	安全性が確				に対する整備済み箇所		%		53.7	54.1	54.5	
1				尹쌷1少十								
ر (ع)	事業費			単位:千円	(3)事務事業の環	要培亦ル。仕	足音目笙					
(2)	事 末具		23年度	24年度	この事務事業の事務事業に				事務事業を	取り巻く環	境は、開始	治時期又
			(決算)	(予算)	[・] きっかけで開始	台されたのか	?	v	は5年前と	北べてどう	変わったの	か?
予	当初予算	額	21,550	13,241	県が国の補助に適 び荒廃の恐れのある				の治山事業 望が増加傾		関心が高ま	り、市民か
予算額	補正予	算	11,960		め、昭和37年7月1 開始された。			=		,		
谼	予算合計		33,510	13,241	刑外日で4 6/こ。							
	国庫補助	<u> </u>										
ŀ			10.714		③ この事務事業 目 見や要望が寄	に対して誰か せられている	らどんな意 らかっ		この事務事 意見	業に対する	る議会から	出された
決	県支出金		10,714		森林所有者や市民				以下の復旧	丁事を給計	1 7(4) (1)	
算	地方債		0		がある。	ベル・ショロ 田 ザオ	RV/用距安主	0073	以下 少陵旧	工事で形的	C CIACV .	
額	その他		1,547									
	一般財源		8,191									

支出合計

20,452

	务事業	742310	事務治事業名	山事業					担 当 部 農林水産部			
⊐	ード	742010	事業名	ш т ж					担 当 課	林務水産		
				23年度 (決		平成24	I年度 (当初		平成25年度 (見込)			
		単位:千円	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計	
1	報	栖										
2	給	料										
3	職員	手 当 等										
4	共	済 費										
7	賃	金										
8	報	償 費										
9	旅	費										
10	交	際費										
11	需	用 費										
	消	耗 品 費										
	燃	料 費										
	食	料費										
	ÉD	刷製本費										
	光	熱水費										
	修	繕 料										
12	役	務費										
		信運搬費										
	広	告 料										
	手	数料										
	保	険 料										
13	委	託 料	861	1,310	2,171	1,310	350	1,660		900	900	
14		及び賃借料		,	,	,						
15		請負費	2,700	14,491	17,191	1,900	7,650	9,550		23,100	23,100	
16		オ 料 費	,	,	,	•	<u> </u>	,				
17		財産購入費				270		270				
18		購入費										
19		補助•交付金	1,090		1,090	1,400		1,400	1,600		1,600	
20	扶	助費	,		,	•		,	,			
21	貸	付 金										
22	補償補	填及び賠償金				361		361				
23	償還金	利子•割引料										
24	投資源	ひ出資金										
25	積	立 金										
26	寄	附 金										
27	公	課費										
28	繰	出 金										
		計	4,651	15,801	20,452	5,241	8,000	13,241	1,600	24,000	25,600	
		围										
		県		10,714	10,714		5,600	5,600		16,800	16,800	
	地	方 債										
目士	辺	地債										
財源	過	疎 債										
内		併特例債										
訳												
	そ	の他		1,547	1,547		800	800		2,400	2,400	
		段 財源	4,651	3,540	8,191	5,241	1,600	6,841	1,600	4,800	6,400	
		計	4,651	15,801	20,452	5,241	8,000	13,241	1,600	24,000	25,600	
	± 마. ;;;	国										
*	甫助率	県		70'%			70'%			70'%		
補	助	基本額										
平		切 予 算		2.	1,550 千円		平成 23 年	F度 財源内	訳の「その他	りの内訳		
平成		// 			1,960 千円	-		The state of				
	第 1			第5回	, - 114	(住)	民分担10%					
23	第2				9月)	7,960	参加費等	の事業実施の	のための収え	人説明		
年	第3					4,000	,	, 2,100,100				
度	第 4			第8回	-/ 4/	,===						
		章 合 計			3,510 千円							
	, ,	. н н		0	-,010 111	日 教 シュー					/一帆用>	

部農林水産部 事務事業 楘 治山事業 742310 事業名 抇 当 コード 課林務水産課 評価 評価理由 2 評価の部 **<SEE>** ① 政策体系との整合性 森林崩壊地の早期復旧により、公益的機能の回復が図られ、 ■ 結びついている ・この事務事業の目的は基本事業の意図 安全性が確保される。 □ 見直す必要がある (基本シートの結果)に結びつくか? 目 ② 公共関与の妥当性 的 ・この事業をなぜ市が行わなければならない ■ 妥当である 公共施設の保護及び市民の安全を確保することは、市の義務 妥 のか? (地方自治法)であり、妥当性がある。 □ 見直す必要がある 当 ・税金を投入して、達成する目的か? 性 ③ 対象・意図の妥当性 ■適切である 「対象」の「公共施設や人家等」は公的及び人命関連施設の 評 ため、妥当。「意図」の「森林崩壊地の早期復旧により、公益的 □ 対象を見直す必要がある 価 ・対象や意図を限定又は追加すべきか? 機能の回復が図られる」は公共施設の利用促進や市民の安全 確保であるため、妥当。 □ 意図を見直す必要がある ④ 成果の向上余地 向 ト 会 地 は な い ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向 事業目的以上の成果向上余地はない。 (十分に成果が出ている) 上させることができるか? □ 向上余地がある В ⑤ 廃止・休止の成果への影響 有 影響がある 荒廃地や危険箇所の増加や被害の拡大が考えられる。 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどの 劾 ような影響があるか? □ 影響がない 性 評 ⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (他に手段がある場合の事務事業名等) □ 他に手段がない 価 ・目的を達成するためには、この事務事業以 県単急傾斜地崩壊対策事業等 外の手段はないか? ■ 他に手段がある 山の崩壊を防止する治山事業であり、緊急箇所の ・類似事業との統廃合や連携を図ることによ ■ 統合できない □ 連携できない 検討などで連携はとっているが、対象が異なるため り成果の向上が期待できるか? 統廃合はできない。 □ 連携できる □ 統合できる 事業費の削減余地 С ・成果を下げずに事業費を削減できない ■削減余地がない 標準工法による整備が原則であり、削減余地は無い。 か?(仕様や工法の適正化、住民の協力な □ 削減余地がある 劾 淧 ⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 性 地元住民等が事業推進員として、サポートしていただくケース やり方を工夫して事務事業に係る業務時 ■ 削減余地がない 間を削減できないか? も稀にあるが、事務については職員で対応しているため、削減 評 ・成果を下げずに職員以外の対応や委託を 余地は無い。 価 □ 削減余地がある できないか? ③ 受益機会・費用負担の適正化余地 公 県を含め、市全域を対象に検討を行い、緊急な箇所から行っ ■ 公平・公正である 事業の内容が一部の受益者に偏っていて ているため、公平・公正である。 性 不公平ではないか? 事業採択の判断の明確化を県に要望する。 □ 見直す必要がある 評 ・受益者負担が公平公正になっているか? (1)1次評価者(課長)としての評価結果 (2)全体総括(振り返り、反省点) 総 A 目的妥当性 ■ 適切 □ 見直す必要がある B 有効性 ■ 適切 □ 見直す必要がある 有効かつ適切な事業であるが、緊急性があるものに対しての早期対応、早期事業 採択に努めたい。 □ 見直す必要がある C効率性 ■ 適切 括 D 公平性 ■ 適切 □ 見直す必要がある 今後の方向性<PLAN> (1)評価結果にもとづく今後の方向性 (2)廃止又は休止すべきとした場合の理由 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] □ 廃止 □ 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] □ 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] □ 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] □ 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] □ 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] 「公平性⑨の結果] □ 公平性改善 ■ 現状維持・継続 ⇒(3)具体的な改善計画は不要 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか (3)具体的な改善計画 ① 平成24年度の取組み概要及び期待される効果 ② 平成25年度に取り組むべき具体的な内容

3) 対 象 (誰、何を 対象にしているのか)	④ 対象指標 (③対象の大きさを 表す指標)	単位	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (見込)	25年度 (見込)
ア	藻場·干潟	アマモの移植及び播種面積	m²		200.0	200.0	200.0
1		稚貝の放流面積	m²		18,000	20,000	22,000
(5)) 意 図 (対象を どうしたいのか)	⑥ 成果指標 (⑤意図の 達成度を表す指標)	単位	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (見込)	25年度 (見込)
ア	薬場・干潟の回復	自然環境に寄与する人工藻場の面積/人工 造成計画面積	%		3.2	4.9	6.5
1							
ウ							
7) 結 果 (どんな結果に 結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度 を表す指標)	単位	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (見込)	25年度 (見込)
ア	・資源の増加・水質の保全がなされる	錦江湾の環境基準点第2地点のCOD	mg/l		2.2	2.1	

(2)事業費 単位:千円 23年度 24年度 (決算) (予算) 当初予算額 1,930 1,395 予 算 補 予 算 -500正 額 予 算 合 1,430 1,395

围	庫袝	甫助		
県	支	出	睁	165
地	ブ	5	債	
そ	0)	他	
_	般	財	源	1,230
支	出	合	計	1,395
	県地	県 支 地 ブ そ <i>0</i>	県 支 出 地 方 そ の 一般財	県 支 出 金 地 方 債 そ の 他 一 般 財 源

(3)事務事業の環境変化・住民意見等

この事務事業は、いつ頃、どのような きっかけで開始されたのか?

事務事業を取り巻く環境は、開始時期又 は5年前と比べてどう変わったのか?

平成21年調査の水質悪化を改善するために 取り組んだ。

この事務事業に対して誰からどんな意 見や要望が寄せられているか?

この事務事業に対する議会から出された 意見

特になし。

資源は増加したか?

藻場が確実に減少している。

 事務事業
コード
 742619
 事務
事業名
 薬場・干潟等保全活動支援事業
 担当部
担当課
 農林水産部
担当課

■運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位:千円

~	国文法 「石刻文法・イヘントの補助寺の状況		平成23年度	平成24年度	平成25年度		
	団 体 名・協 議 会 名		(決算)	(予定)	(予定)		
			補助金	補助金	補助金		
			自主財源	自主財源	自主財源		
1	対象 全市 国分 溝辺 横川 牧園 霧島 隼人	福山	合計	合計	合計		
	地区		自主財源率	自主財源率	自主財源率		
			補助金	補助金	補助金		
ا ا			自主財源	自主財源	自主財源		
2	対象 全市 国分 溝辺 横川 牧園 霧島 隼人	福山	合計	合計	合計		
	地区		自主財源率	自主財源率	自主財源率		
			補助金	補助金	補助金		
3			自主財源	自主財源	自主財源		
١	対象 全市 国分 溝辺 横川 牧園 霧島 隼人	福山	合計	合計	合計		
	地区		自主財源率	自主財源率	自主財源率		
			補助金	補助金	補助金		
4			自主財源	自主財源	自主財源		
4	V1 3/c	福山	合計	合計	合計		
	地区		自主財源率	自主財源率	自主財源率		
			補助金	補助金	補助金		
5			自主財源	自主財源	自主財源		
3	/13x	福山	合計	合計	合計		
	地区		自主財源率	自主財源率	自主財源率		
			補助金	補助金	補助金		
6			自主財源	自主財源	自主財源		
0	対象 全市 国分 溝辺 横川 牧園 霧島 隼人	福山	合計	合計	合計		
	地区		自主財源率	自主財源率	自主財源率		
			補助金	補助金	補助金		
7			自主財源	自主財源	自主財源		
'	7.1.25	福山	合計	合計	合計		
	地区		自主財源率	自主財源率	自主財源率		
			補助金	補助金	補助金		
8			自主財源	自主財源	自主財源		
	7.1.25	福山	合計	合計	合計		
	地区		自主財源率	自主財源率	自主財源率		
T			補助金	補助金	補助金		
9			自主財源	自主財源	自主財源		
	対象 全市 国分 溝辺 横川 牧園 霧島 隼人	福山	合計	合計	合計		
	地区		自主財源率	自主財源率	自主財源率		
			補助金	補助金	補助金		
10			自主財源	自主財源	自主財源		
'0	7.3.33	福山	合計	合計	合計		
	地区		自主財源率	自主財源率	自主財源率		
	計		補助金負担金合計	補助金負担金合計	補助金負担金合計		
			自主財源合計	自主財源合計	自主財源合計		
			自主財源率	自主財源率	自主財源率		

■負担金の状況

単位:千円

			十四:11								
	団 体名・協議会名				平成25年度		負担金(の支払先			
	四个石。励成云石		(決算)	(計画)	(予定)	全国	九州	県	その他		
1	鹿児島県藻場·干潟保全対策協議会	負担金額	1,225	1,125	1,125				•		
2		負担金額									
3		負担金額									
4		負担金額									
5		負担金額									
		合計	1,225	1,125	1,125				1		

当初予算	1,930
補正予算	▲ 500
合 計	1,430

<補正予	<補正予算内訳> 単位										
第1回	(3月)	▲ 500	第4回			第7回					
第2回			第5回			第8回					
第3回			第6回								

① 政第 ・この (基2 2 公才 ・なせ	本 < SEE > <	全合性 目的は基本事		評価		担当課 評価理由			
① 政第 ・この (基2 2 公才 ・なせ	体系との整)事務事業の 本シートの結り	全合性 目的は基本事							
・なものか	関与の妥当			■ 結びついている □ 見直す必要がある		移植・稚貝の放流等、藻場・干潟の保全回復は公共水 保全につながるので結びついている。			
かけ	•	は負担しなけ	ればならない	■ 妥当である	藻場・干涸である	鳥の保全・回復は湾奥の浄化につながることから妥当			
	・意図の妥 象や意図を限		ナベきか?		一般市民	一般市民も対象にしているので妥当である。			
•成!	果指標の現状	値をあるべき	水準まで向	■ 向上余地はない (十分に成果が出ている □ 向上余地がある) 事業目的	以上の成果向上余地はない。			
•補J	助金又は負担	.金の交付を屠	産止又は休止	■ 影響がある □ 影響がない	4年間の約	迷続事業である。			
·他(こ同様の補助	金又は負担金	全はないか?	■ 他に手段がない□ 他に手段がある□ 統合できない □ 連	隽できない	(他に手段がある場合の事務事業名等)			
·交f	寸先に働きかり	けて、市の負	担を削減する	*************************************		確定しているので削減余地はない。			
رج،)方を工夫して	で事務事業に		■ 削減余地がない □ 削減余地がある	人件費は	予算執行事務のみであり、削減余地がない。			
・補足 てい	助金又は負担 て不公平では	.金が一部のst tないか?	受益者に偏っ	■ 公平·公正である □ 見直す必要がある	易の保全・回復を図るための事業であり、受益者は漁 ではなく一般市民となる。				
					振り返り、反	省点)			
B 有	効性	■ 適切	□ 見直す必	必要がある 適切な事業で	5り現状を維	持する。			
	–								
後のブ	方向性 <pl <="" th=""><th>AN></th><th>-</th><th>↓</th><th></th><th></th></pl>	AN>	-	↓					
	-				又は休止す	すべきとした場合の理由			
休止 目的	再設定	[目的妥	·当性①②、有 的妥当性①③	「効性⑤の結果] ③の結果]					
有效 勃率	性改善(成果 性改善(コス)	· 向上) [有 - 削減) [効	効性④の結果 率性⑦⑧の編	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -					
			1 120 1 1111						
具体的		*	(1)のチェック	ク項目に対し、具体的にどの。	うに取り組む	むのか			
	4) ・ L 類 ・ L 類 ・ M ・ L 数 M ・ L X M · L X	4 成果の向上余式 ・成さ の のが の 負の にない の 負の が 、	4) 成果の向上余地	・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	対象や意図を限定又は追加すべきか?	・対象や意図を限定又は追加すべきか?			

		[平]	成 23年度	事	務事	業評	価 表	く一般月	月>					様式1
H.	事務事業	-	742112 事	務 業名	くい虫防防	余事業					担当		農林水産語	
	コード 政策名	2	争	* 美名 こやさしいます							担当		林務水産記 林務グルー	
	政東名 施策名	1		-やさしいまり 環境の保全	つづくり						で 託 番		M務クルー 45-5111	
	本事業名										内線番		2362	-
_	会記		一般会計	- PK-IL				□ 単年	· 度のa	4	1.3 柳水 田	. ,	2002	
=	予款			く産業費			事業			· 区 (開始4	丰度	S52	2 年度~))
4	算 項		2 林業費	B.			期間	□ 期間	限定袖	复数年度	(~)
1		2	2 林業振	長興費			根拠法令・	森林病害虫	//: 17+17/	s.>/+-				
		·۲	742112				条例等	綠 外 枘 告 出	等的例	法				
目	関連計画													
1. 3	見状把握	(1)事務事業(の目的と指標	票 < D	o>								
①	手段(事務事	業の概要)								成23年度			
霧	 島市内景勝	地のに	ノクレーション	の場に欠かす	ことのでき	ない公益的	内機能の高い松	公林について	· .		射幹注入事 5公園(572		霧島神宮参	論(50
							は被害を防止す 憂くん蒸すること		ler-le-	本)、国民	民休養地(1)但(00
	による被害 防止する。	ハセレ	(国・正別りし	主な	伐倒・く/ 霧島神言	ん烝事業 舌の里公園	周辺	(201 m³)						
								活		成24年度		<u> </u>		
									動	1到 半十八工ノ			浜公園(78	(本)•霧島
										神宮(36	本)・国民を	木養地	也(20本)	合計134
				伐倒・くん		霧島	神話の里仏	公園周辺						
										(200 m³)		在	0.4左连	05左曲
2	活動指標	(事務	ら事業の活動 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	量)				単位	<mark>ኒ</mark>	22年月 (実績)			24年度 (見込)	25年度 (見込)
ア	景勝松林樹	幹注。	入本数					本 12		21 1	121	134	146	
1 1	伐倒・くん素	Ŕ						m³		20	60 2	201	200	300
ゥ														
3		(誰、何	可を こしているのか	、 ④ 対象	指標	(③対象の	大きさを をす指標)	単位	ኒ	22年度			24年度	25年度
7	松林	刈豕(CC (1/30/11	景勝松対	· 台 t\\	<u>a</u>	又 9 1日1示/	本		(実績		592	(見込) 592	(見込) 592
) 1				京防仏刈	永仏			74		0,	50 5	192	392	392
1														
ウ														
⑤	意図	(対象:	<u></u> を	、 ⑥ 成果	北海	(⑤意図の		単位	Ļ	22年度	23年月	度	24年度	25年度
9		(どうしたいのか	·) @ 败 *	旧保	達成度	を表す指標)	中卫	L	(実績)	(実績	į)	(見込)	(見込)
ア	松林が保全	される		樹幹注入	.本数/景	勝松対象松	7	%		20.	6 20	0.4	22.6	24.7
1														
_														
ウ		/187 J	な結果に			(@\d+	果の達成度			22年月	建 23年 月	由	24年度	25年度
7	結果		が付けるのか)	8 上位	成果指標		未の達成及 表す指標)	単位	ኔ	(実績			(見込)	(見込)
ア 1	保全される			植林され	た森林面積	漬		ha		33	.5 4:	2.3	25.0	
1														
	事業費			 単位:千円	(2) 車	変車巻の1	環境変化∙住	足音目生						
(2)	中木具		23年度	24年度			は、いつ頃、			事務事業	まを取り巻	く環ナ	境は、開始	時期又
			(決算)	(予算)	し きっ	かけで開始	冶されたのか	?	2				変わったの	
予	当初予算	額	5,373	5,406			ノダラカミキリョ クで松が枯死っ			F周期くらい ている。	ハで被害量	は増	えたり減っ7	たりを繰り
算額	補正予	算	0		和52年月		の荒廃を防ぐた			(1,2)				
額	予算合計		5,373	5,406	た。									
				1	1									
	国庫補助	金	0		_③	事務事業	に対して誰か	らどんな意	(4)		事業に対	する	議会から	出された
	県支出金		4,600		デ見べ	要望が寄	せられている	いるか?						
決	地方債		0			除に対し、養	を 蜂家から補償	の要望が	の要望が特になし。					
<mark>決算額</mark>	その他		278		あった。									
	一般財源		479											

支出合計

5,357

事務	8事業	742112	事務	公くい虫防除薬	主 <u></u>					担 当 部 農林水産部			
□	ード	772112	事業名 1	370.771919小=	# *					担 当 課	林務水産	課	
			平月	成23年度(沒	夬算)	平	成24	年度 (当初]予算)		25年度 (見	[込]	
		単位:千円	単独	補助	合計	単独	ŧ	補助	合計	単独	補助	合計	
1	報	州雪											
2	給	料											
3		手 当 等											
4	共	済 費											
7	賃	金											
8	報	償 費											
9	旅	費											
10	交	際費											
11	需	用 費											
		耗 品 費											
	燃	料 費											
	食	料 費											
		刷製本費											
		熱水費											
	修	繕 料											
12	役	務 費											
		信運搬費											
	広	告 料											
	手	数料											
	保	険 料											
13	委	託 料		5,357	5,357			5,406	5,406		5,373	5,373	
14	使用料	及び賃借料											
15	工事	請負費											
16	原	才 料 費											
17	公有	材産購入費											
18	備品	購入費											
19	負担金	補助•交付金											
20	扶	助費											
21	貸	付 金											
22	補償補	填及び賠償金											
23	償還金	利子•割引料											
24	投資》	及び出資金											
25	積	立 金											
26	寄	附 金											
27	公	課費											
28	繰	出 金											
		計		5,357	5,357			5,406	5,406		5,373	5,373	
		国											
		県		4,600	4,600			4,642	4,642		4,624	4,624	
	地	方 債											
財	辺	地 債											
財源	過	疎 債											
内	合	併特例債											
訳													
	そ	の他		278	278			213	213		299	299	
	— f	投 財源		479	479			551	551		450	450	
		計		5,357	5,357			5,406	5,406		5,373	5,373	
な	甫助率	国											
		県		10/10 • 1/2				10/10 • 1/2			10/10		
補	助	基本額											
平	当	刃 予 算			5,373 千円			平成 23 年	度 財源内	訳の「その他	也」の内訳		
成		E 予 算					ادر ملوف	マ体中ロッツム	光の性がみっ	古光串の4世	ナ、地合いを4	コルトル	
00	第1	回		第5回			1中 四	・児N及い参	垣の樹軒注/	、尹釆賞♡ノ4吾	を神宮が負担	∃ <i>∪/</i> ⊆/⋶∅)	
23	第2	回		第6回				参加費等(の事業実施の	のための収え	入説明		
年	第3	回		第7回									
度	第4			第8回									
		第 合 計			5,373 千円								
							—— !—_•\$\$					/一帆田>	

	務事業 コード	742112	事 務事業名	松くい虫	坊除事業			<mark>担当部</mark> 農林水産部 担当課 林務水産課
2	評価の部	部 <see></see>				評価		評価理由
A	・こ <i>0</i> (基:	本シートの結り	目的は基本事 果) に結びつく		■ 結びつ□ 見直す	oいている ⁻ 必要がある	松林の例でいる。	建全育成・保全を実施することで政策体系に結びつい
目的妥当	・この のか・ ・税	・? 金を投入して	市が行わなけ 、達成する目的			- 必要がある		や市民の訪れる憩いの場の自然環境の保全を図ることしているので公共関与は妥当である。
性評価		象・意図の妥 象や意図を限	当性 限定又は追加す	ナベきか?		₹ある ₹見直す必要がある ₹見直す必要がある	ぞれ妥当	ついては松林で、意図については保全であるためそれ である。
В	・成 上さ	せることができ	く値をあるべき きるか?		(十分)	<地はない に成果が出ている)	神話の里	林は樹幹注入により被害防止効果は出ているが、霧島 公園周辺の松林は毎年被害があり、伐倒・くん蒸事業 に強い黒松等に樹種転換を図る必要がある
有効性	·事		!果への影響 :又は休止した か?		■ 影響カ		松くい虫	aによる松枯れ被害が拡大する。
評価	・目i 外の	的を達成する)手段はないな)事務事業以		- -段がない - -段がある		(他に手段がある場合の事務事業名等)
_	り成:	果の向上が期 養の削減 第	廃合や連携を 明待できるか? 余地			合できない □ 連接 合できる □ 連接		
C 効	か? ど)	(仕様や工法	事業費を削減 この適正化、住 務時間)の	民の協力な		き地がない き地がある	事業費の	の削減は事業量(成果)の縮小に繋がる。
率性評価	・やり 間を ・成り でき	の方を工夫して 削減できない 果を下げずに ないか?	て事務事業に()か? :職員以外の対	深る業務時 対応や委託を		≑地がない	委託でい	事業を行うため人件費には影響しない。
D公平性評価	·事 不公	業の内容が- <平ではないた	負担の適正 -部の受益者に か? <	に偏っていて		公正である ⁻ 必要がある		原としても松林を保全することは、広く市民に有益であ 平・公正である。
	(1)18	文評価者(課	長)としての	評価結果		(2)全体総括(扱	長り返り、反	(省点)
総		的妥当性 「効性	■ 適切□ 適切	□ 見直す必■ 見直す必				"平成20年度から一般航空防除が休止せざる得なくれる。また、病害虫に強い黒松等に樹種転換を図る必
括)率性 ≿平性	■ 適切 ■ 適切	□ 見直す必□ 見直す必		要がある。		
2 .		_{・一は} 方向性 <pl< th=""><th></th><th>□ 元巨 9 %</th><th>、安ル・のつの</th><th></th><th></th><th></th></pl<>		□ 元巨 9 %	、安 ル・のつの			
			今後の方向	性		(2)廃止	又は休止す	すべきとした場合の理由
	□ 廃止			当性①②、有				
	□ 休止	- 百再設定		·当性①②、有 的妥当性①③		吉果」		
		·并成是 ŧ統合•連携		かめョムしる 効性⑥の結果				
]性改善(成果		効性④の結果	=			
		☑性改善(コス ☑性改善	.ト削減) [効 「ハ	率性⑦⑧の編 平性⑨の結果	· · · =			
			⇒(3) 具体的		-			
		<u> </u>	. ,,,,,,,,			_		
		な改善計画				し、具体的にどのよ		
水のい虫	益的機能	の高い松林! ん蒸を総合的	み概要及び について、薬剤 に組み合わせ もに、病害虫の	引の樹幹注入 て防除を行い	、被害が、松く			き具体的な内容 害拡大防止に努める。

			平成	23年度		事 系	新	業	泙	価 表	<-	-般用	>						様式1
	事務事		742	412 事	務 業名	森林	維持管	理事業	-						担扣	当	7	農林水産部	
	コード		2	_	そるしい	\++	ざくり								担	当		林務水産	•
	政策名 施策名		1		-やさい		*ンくり									話番		外務グルー 45-5111	
1	本事第	•	2	申 糸 休 の		"土.										線番		2362	-
4		会計		(大学) (大学)	/木土							単年原	生のみ		M	小 田	7	2302	
	予	款	6		(産業費	,				事業				r 氢(開始 ²	年度	F _	_	不明)	
	, 算 科	項	2	林業費						期間	_			数年度		2	~)
	科 目 ┃	目	5		· 整備事業	書				根拠法令・		7911H11	X / L 15		`				,
	· · ·	コード		2412	Z /// //	.,,				条例等					1,	2L			
	関連計	画																	
_	現状把		(1) 基	務事業(り目的と	·指標	<d< th=""><th>o></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th></d<>	o>											
_	手 段													平	成2	3年度	実績	Ę	
					# /#: A -	→ ↓ ↓ □	44 L 6	=n. ma . L.	. L	TT = 37, \L BV	on dan	J . 2. 19		上刈 8	37h	。(畄油	5 76	ha、補助2.6	lha)
かを行		園止(€,	官埋す	るための数	を備や巾	有 杯監	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	設直、ま	た綵	林国営保険	~(/)川,	人など		除間伐	40.	83ha(ネ	浦助の	かみ)	
除間	伐につ	いては	始良則	東部森林組	合、下刈	につい	ハては姶	良東部和	森林為	組合、淵脇建	設など	が行っ	土					l, 295, 277 視活動 18	
てい森杉		:険につ	ついてに	は市有林の	面積で例	保険に	継続加え	人、また親	ff規則	購入の箇所に	ついて	は新た	+-						, ,
にカ	1入して1									も安価な掛金			活動	平.	成2	4年度	計迪	1	
	いる。												3/)						
														前年度と	:同村	策。			
<u></u>	红纸井	54m /-	+ 3/2 +	光の圧乱し	= \							Ж /		22年月	臣	23年	度	24年度	25年度
W	石 期 f	帰(昔	事務爭	業の活動量	重)							単位		(実績)	(実績	〔 〕	(見込)	(見込)
ア	市有林	の施業	実施面									ha			53		41	29	29
1	森林国	学 伊.除	: tn 7, 72	語								ha		9	36		65	196	196
1	林怀凶	A 体例		11个具								Ha		4	30		00	190	190
ウ																			
3	対 象		、何を		(4)	対象技	上標	(③対象				単位		22年月	_	23年		24年度	25年度
9	V) 20	対	象にし	ているのか	7)	V.) SV.)	D 1/JK		表	す指標)		+12		(実績)	(実績	()	(見込)	(見込)
ア	市有林				市有	林面和	責					ha		2,5	09	2,	516	2,516	2,516
1																			
ウ																			
⑤	意图	(対	象を _{どろ}	したいのか	. 6.	成果排	旨標	(⑤意図)		と表す指標)		単位		22年月 (実績		23年		24年度 (見込)	25年度 (見込)
7	भेद्र _स ्राप्त १ ज्य	УС тП У.		C/CV 107/31		実施配	=1±	连从	()X.C	- 4 7 1日(示)		1		10 4 104		(大将		29	
ア	適正に	官理さん	4いる。		他来	夫爬山	山傾					ha			53		41	29	29
1																			
ゥ																			
		(じ	んな結	: 田 /ァ				(6	7) st± 1	果の達成度				22年月	ŧ	23年	庄	24年度	25年度
7	結界			i未に けけるのか)	8	上位月	戊果指	票		未り達成及 そす指標)		単位		(実績	_	(実績		(見込)	(見込)
ア	森林が	保全さ	れる		植林	された	森林面積	債				ha		33.	.5	42	2.3	25.0	
イ																			
(2)	事業費	t			単位:					境変化・住									
				23年度	24年					ま、いつ頃、 されたのか		うな						境は、開始 変わったの	
	当初	乙午好		(決算) 43,068	(予算					を適切に維持		するた						ダイノン/こり :め、今後、袖	
予				-	აა,	149	めに開か					,	の山林	木が増加~	する。	。そのた	こめ、	市単独の除	
算額		予算		114,590									等をす	「る必要性	EDit	増した。			
识	予算台	計		157,658	33,	149													
	D 中 +	+ n. A		0															
	国庫社			0			3 = 0	事務事	業に	こ対して誰か	らどん	んな意			事	業に対	する	る議会から	出された
	県支出	出金		10,716						せられている		-1-1		意見					
決算額	地方值	責		0						らも市有林の から要望があ		c 整備	特に	なし。					
昇額	その他	<u>ե</u>		0			~_~/	\\$\)	.1.1	JA ±4.0	- 🕶 0								
	一般則	才源		139,692															
	支出台			150,408															
	又山市			100,408															

	事業 一ド	742412	事務森和	林維持管理	 事業				担当部担当課	農林水産	
	'			23年度 (決	(首)	亚成24	年度 (当初	1条質)		25年度 (見	
		単位:千円	単独	Z3年及(沃 補助	合計	単独	神及 (ヨ初	<u>)ア昇)</u> 合計	単独	A H H H H H H H H H H H H H H H H H H H	<u>心</u> 合計
1	報	 酬	734	11023	ДН	7-34	1113-93	- н	7-34	11023	нн
2	給	料									
3	職員	手 当 等									
4	共	済 費									
7	賃	金									
8	報	償 費	1,192		1,192	1,405		1,405	1,405		1,405
9	旅	費									
10 11	<u>交</u> 需	際 費 用 費	64		64	22		0.0	22		23
' '	消	<u>用 頁</u> 耗品費	64		64	23		23	23		23
	燃	料費	01		01	20			20		
	食	料費									
		刷製本費									
	光	熱水費									
	修	繕 料									
12	役	務費	4,799		4,799	8,401		8,401	8,401		8,401
		信運搬費									
	広手	<u>告料</u> 数料	3,432		3,432	4,300		4,300	4,300		4,300
	保	数 科 _ 険 料	1,367		1,367	4,101		4,101	4,101		4,101
13	委	託 料	9,011	16,189	25,200	8,498	1,129	9,627	8,498	1,129	9,627
14		<u> </u>	3,790	10,100	3,790	4,900	1,120	4,900	4,900	1,120	4,900
15	工事	請負費						<u> </u>			<u> </u>
16	原	才 料 費									
17		材産購入費	115,191		115,191	8,721		8,721	8,721		8,721
18		購入費									
19		補助・交付金	72		72	72		72	72		72
20	扶	助 費									
21	貸端偿据	付 金 填及び賠償金	100		100						
22		^{夏及び} 期	100		100						
24		ひ出資金									
25	積	立 金									
26	寄	附 金									
27	公	課費									
28	繰	出 金									
		計	134,219	16,189	150,408	32,020	1,129	33,149	32,020	1,129	33,149
		国 県		10.716	10.716		767	767		767	767
ŀ	地	原 方 債		10,716	10,716		101	101		101	767
В÷	辺	地債									
財源	過	疎 債									
内	合	併特例債									
訳											
	そ	の他									
	<u> </u>	设 財 源 	134,219	5,473	139,692	32,020	362	32,382	32,020	362	32,382
		計	134,219	16,189	150,408	32,020	1,129	33,149	32,020	1,129	33,149
衤	輔助率	国 県									
補	助										
		切 予 算		45	3,068 千円		平成 23 年	度 財源内	<u> </u>	リの内訳	
平成		z y y E 予 算			4,590 千円		1 /24 20 7	~ N1 mN 1° 1	, m. 1 - 2 - 2 - 7 E	-2 - F 1 3 H/V	
	第1			第5回							
23	第2				9月) 🔺	617	参加費等の	の事業実施の	のための収入	説明	
年	第3			第7回			3回以降の補1				
度	第 4					5,207 第9	9回(3月) 11 用(2月) 15	5, 192			
	予算	章 合 計		157	7,658 千円	財務シー		,			✓—船田>

部農林水産部 事務事業 楘 742412 森林維持管理事業 事業名 抇 当 コード 課 林務水産課 2 評価の部 **<SEE**> 評価 評価理由 ① 政策体系との整合性 市の所有する山林を適切に維持管理することによって、森林 ■ 結びついている ・この事務事業の目的は基本事業の意図 が保全されるので政策体系に結びついている。 □ 見直す必要がある (基本シートの結果)に結びつくか? 目 ② 公共関与の妥当性 的 ・この事業をなぜ市が行わなければならない ■ 妥当である 市有林のため、市が管理を行わなければならない。 妥 のか? □ 見直す必要がある 当 ・税金を投入して、達成する目的か? 性 ③ 対象・意図の妥当性 ■適切である 評 対象が市有林であり、この意図が市有林の維持管理であるた □ 対象を見直す必要がある 価 ・対象や意図を限定又は追加すべきか? め適切である。 □ 意図を見直す必要がある ④ 成果の向上余地 向 ト 会 地 は な い ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向 適正に管理されており、成果の向上余地としてはない。 (十分に成果が出ている) 上させることができるか? □ 向 ト 余地がある В ⑤ 廃止・休止の成果への影響 有 影響がある ・事務事業を廃止又は休止した場合にどの 市有林のため、市が管理を行わなければならない。 劾 ような影響があるか? □ 影響がない 性 評 (他に手段がある場合の事務事業名等) ⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ■ 他に手段がない 価 ・目的を達成するためには、この事務事業以 外の手段はないか? □ 他に手段がある ・類似事業との統廃合や連携を図ることによ □ 統合できない □ 連携できない り成果の向上が期待できるか? □ 連携できる □ 統合できる 事業費の削減余地 С ・成果を下げずに事業費を削減できない 補助事業により、施業できるところは積極的に補助事業を導 ■削減余地がない 入しているので事業費を削減することは困難である。 か?(仕様や工法の適正化、住民の協力な □ 削減余地がある 劾 淧 ⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 性 やり方を工夫して事務事業に係る業務時 ■ 削減余地がない 現在、市有林の施業は森林組合等の事業体に委託(入札形 間を削減できないか? 評 式)しているため、人件費の削減も困難である。 ・成果を下げずに職員以外の対応や委託を 価 □ 削減余地がある できないか? ③ 受益機会・費用負担の適正化余地 公 ■ 公平・公正である 市有林の維持管理事業であるため、一部の受益者に偏ること 事業の内容が一部の受益者に偏っていて 性 不公平ではないか? はない。 □ 見直す必要がある 評 ・受益者負担が公平公正になっているか? (2)全体総括(振り返り、反省点) (1)1次評価者(課長)としての評価結果 市有林の森林施業については、できるだけ高率の補助事業を活用するように取り 総 A 目的妥当性 ■ 適切 □ 見直す必要がある 組んでいる。また、森林組合等の事業体が行う「緑の雇用担い手育成事業」での研 B 有効性 ■ 適切 □ 見直す必要がある 修場所として積極的に市有林を提供するなどし、無料で施業を実施してもらってい C効率性 ■ 適切 □ 見直す必要がある 括 今後も現状を維持しながら、引き続き適正な事業を行う。 D 公平性 ■ 適切 □ 見直す必要がある 今後の方向性<PLAN> (1)評価結果にもとづく今後の方向性 (2)廃止又は休止すべきとした場合の理由 □ 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] □ 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] □ 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] □ 事業統合・連携 「有効性⑥の結果] □ 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] □ 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] 「公平性⑨の結果] □ 公平性改善 ■ 現状維持・継続 ⇒(3)具体的な改善計画は不要 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか (3)具体的な改善計画 ① 平成24年度の取組み概要及び期待される効果 ② 平成25年度に取り組むべき具体的な内容

評価対象	年度	平成:	23年度		事系	新事	業	評	価 表	ξ	<一般用	>						様式1
事務事		2		事 務 事業名	森林	環境税	事業							担担	当当		農林水産部 林務水産課	
政策	名	2		にやさし	ハまち	づくり									ルー			
施策	名	1	自然	環境の	呆全									電	話番	号	45-5111	
基本事	業名	2	森材	の保全										内	線番	号	2362	
	会計	一角	设会計						+ **	<u>_</u>	□ 単年度	のみ	٢					
予	款	6	農材	水産業	費				事業 期間	₹ 1	■ 単年度	繰返	(開始	台年度	ŧ	Н	17 年度~)	
算 科	項	2	林業	費					74116	,	□ 期間限	定複	数年周	蒦(~	•)	
目	目	5	森材	整備事	業費				根拠法		なし							
	コード	742	2413						条例	等	なし							
関連計	一画																	
1. 現状排	巴握	(1)事	務事業	美の目的	と指標	< D	٥>											
①手具	殳 (事務	务事業 の	の概要)										3	平成2	3年度	実統	主 貝	
督励、選木 な機能の約	、伐採(推持、増	の指導 進を図	及び現る。また	也調査を 、林業事	テい、森 業体へ間	林の一体 引伐作業	本的かに必要	つ効率	図的な整備 業路等開	備、森]設に	者への間伐の 森林の多目的 係る経費を助 公益的機能	主な	森林條	建全化	整備	69.3	265日 9ha 1318.75m	

の維持を図る。

平成24年度計画

活

動

森林づくり推進員活動 265日 森林健全化整備 54ha 森林づくり基盤整備 11,580m

2) 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (見込)	25年度 (見込)
ア	森林づくり推進員活動		日	265	265	265	265
1	森林健全化整備(森林の除間伐・	再造林)	ha	128	69	54	70
ゥ	森林づくり基盤整備(作業道・作業	连路・ 集材路の路網整備)	m	31,319	12,302	11,580	13,000
3) 対 象 (誰、何を 対象にしているのか)	④ 対象指標 (③対象の大きさを 表す指標)	単位	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (見込)	25年度 (見込)
ア	森林施業計画の対象となる森林	森林施業計画面積	ha	15,479	15,479	15,479	15,479
1	民有林	林業作業従事者数	人	134	140	145	150
ウ							
(5) 意 図 (対象を どうしたいのか)	⑥ 成果指標 (⑤意図の 達成度を表す指標)	単位	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (見込)	25年度 (見込)
ア	計画的な森林整備の促進	施業実施面積/森林施業計画面積	%	4	7	10	13
イ							
ゥ							
7) 結 果 (どんな結果に 結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (見込)	25年度 (見込)
ア	森林が保全される	植林された森林面積	ha	33.5	42.3	42.3	
1							
(2)事業費	単位:千円 (3)事務事業の環境変化・住	民意見等				

23年度 24年度 (予算) (決算) 当初予算額 6,590 6,590 補正予算 額 予算合計 6,590 6,590

国庫補助金 県支出金 795 地方債 0 算 その他 0 額 一般財源 5,634 支出合計 6,429

単位:千円 (3)事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業は、いつ頃、どのような きっかけで開始されたのか?

事務事業を取り巻く環境は、開始時期又 は5年前と比べてどう変わったのか? 木材価格の低下による森林施業意欲が低下してい

平成17年度から森林環境税を財源とする事業が始まり、森林づくり推進員活動補助がスタートした。また、高齢級除間伐と作業路等の森林基盤整備に対する上乗せ補助を開始し

③ この事務事業に対して誰からどんな意 見や要望が寄せられているか?

森林所有者から、森林を適正に保全するため さらに支援の拡充の要望がある。

この事務事業に対する議会から出された 意見

特になし。

	务事業	22	事務	林環境税事	 業				担当部		
	ード								担当課	林務水産	
		単位:千円		<mark>戊23年度 (決</mark> │ 補助			#年度 (当初		単独	25年度 (月	
1	報	単位:十円 酬	単独	(相則	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
2	給										
3		. 手 当 等									
4	共	<u> </u>									
7	賃	金		1,590	1,590		1,590	1,590		1,590	1,590
8	報	償 費									
9	旅	費									
10	交	際費									
11	需	用 費									
		耗品費									
	燃	料費									
	食	料費刷製本費									
		熱水費									
	修										
	ישו	ণ⊞ শুন									
12	役	務費									
		信運搬費									
	広	告 料									
	手	数料									
	保	険 料									
13	委	託 料									
14		及び賃借料									
15		請 負 費 オ 料 費									
16 17		材 料 費 財産購入費									
18		·購入費									
19		· 耕 八 頁 · 補助・交付金	4,839		4,839	5,000		5,000	5,000		5,000
20	扶	助費	1,000		1,000	0,000		0,000	0,000		0,000
21	貸	付 金									
22	補償補	填及び賠償金									
23		利子・割引料									
24		及び出資金									
25	積	立 金									
26	寄	附金									
27 28	公繰	課 費 出 金									
20	际	計	4,839	1,590	6,429	5,000	1,590	6,590	5,000	1,590	6,590
		国	1,000	1,000	0,123	0,000	1,000	0,030	0,000	1,000	0,030
				795	795		795	795		795	795
	地	方 債									
財	辺	地 債									
源	過										
内訳	合	併特例債									
	7.	⊅ "L									
	そ - +	の 他 _役 財源	4,839	795	5 624	5 000	795	5.705	5,000	795	5,795
	1	t n iii 計	4,839	1,590	5,634 6,429	5,000 5,000	1,590	5,795 6,590	5,000	1,590	6,590
		国	4,009	1,090	0,443	0,000	1,090	0,090	3,000	1,090	0,090
*	補助率	県		50			50			50	
補	助	基本額									
平	当	切 予 算			6,590 千円		平成 23 年	F度 財源内	訳の「その他	也」の内訳	
成		E 予 算									
23	第1			第5回]					
	第2			第6回			参加費等	の事業実施の	のための収え	入説明	
年度	第3			第7回							
坟	第 4			第8回	C 500 - T III						
	予算	京 合 計			6,590 千円	日本教会・一					/一帆田>

	務事業 コード	22	事 務 事業名	森林環境	税事業			<mark>担 当 部</mark> 農林水産部 担 当 課 林務水産課			
) †# <0FF>			i e	=a /≖		1 333377EBR			
2		O <mark>部 <see></see></mark> 女策体系との翌				評価		評価理由			
А	·3	この事務事業の 基本シートの結り	目的は基本事 果) に結びつく			ついている す必要がある		こより森林施業が進み、森林整備が図られ、その結果 全されるため施策体系に結びついている。			
目的妥当	・この	・共関与の妥当 この事業をなぜで か? 脱金を投入して、	市が行わなけ			である す必要がある	に関し、国との 的社会的諸多	基本法第六条に「地方公共団体は、基本理念にのっとり、森林及び林業 の適切な役割分担を踏まえて、その地方公共団体の区域の自然的経済 条件に応じた施策を策定し、及び実施する責務を有する」と規定されてお 全は市の役割であることから妥当である。			
性評価	③ 茨	対象・意図の妥 対象や意図を限	当性			を見直す必要がある	国・県の 切である。	補助制度と同様の対象・意図を設定しているため適			
		(果の向上余均	.Ua		□ 意図を	<u> </u>					
В	• <u>F</u>	《果の何上来」 成果指標の現状 させることができ	は値をあるべき	水準まで向	(十分	余地はない に成果が出ている) 余地がある	らの施業 置林(民有	各の低迷による施業意欲の低下により、森林所有者か 司意が得られず適切な森林整備が行われていない放 有林)が一部あるため、森林づくり推進員の活動日数を み心な事業説明を行うことにより効果の向上余地があ			
有効性	• [止・休止の成 事務事業を廃止 うな影響があるな	又は休止した		■ 影響が			各の低迷により、施業経費に対する個人負担が重く、 止となれば施業面積が減少し、森林保全に与える影 い。			
評価		質似事業との 紛			他に言	手段がない		(他に手段がある場合の事務事業名等)			
	外 • *	目的を達成する。 の手段はないか 類似事業との統り 成果の向上が期	ı ? 廃合や連携を	·図ることによ	□他に引	F段がある 合できない □ 連携 合できる □ 連携					
C 効	• J.	業費の削減系 成果を下げずに ・? (仕様や工法 ・)	事業費を削減		■削減泵	<u>ロできる □ 足房</u> 余地がない 余地がある	木材価権	トライス という			
率性評価	・ 間 ・ だ で	、件費(延べ業 やり方を工夫して うを削減できない 成果を下げずに きないか?	て事務事業にか? 職員以外の対	深る業務時 対応や委託を		余地がない 余地がある	補助金申請、実績報告作成、補助金支払い事務等これ以上の業務時間削減は難しい。				
D公平性評価	· :	・	·部の受益者に	に偏っていて		公正である す必要がある	7 / 1	だは森林組合を通じて山林所有者への補助を行う事 公平である。			
	(1)1	次評価者(課	長)としての	評価結果		(2)全体総括(振	り返り、反	省点)			
総		目的妥当性 有効性	■ 適切 □ 適切	□ 見直す必 ■ 見直す必	必要がある 必要がある	森林所有者から	森林整備に	- 関しての同意が得られず放置された森林も存在し、			
括		効率性	■ 適切	□ 見直すぬ	必要がある	森林整備のみなら ることで事業の有効		全の重要性の啓発を行い、森林整備を積極的に進め る。			
		公平性	適切	□ 見直すぬ	必要がある						
		D方向性 <pl< th=""><th></th><th>Let.</th><th></th><th>(a) de 1 d</th><th></th><th></th></pl<>		Let.		(a) de 1 d					
(1)		結果にもとづく		-	-#- hr & & %		くは休止す	けべきとした場合の理由			
	□ 廃	_		·当性①②、有 ·当性①②、有							
		`血 的再設定		'		中木」					
		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	- -	効性⑥の結果							
	■有	i効性改善(成果	 !向上) [有	効性④の結界	- -						
	□ 効	率性改善(コス	ト削減) [効	率性⑦⑧の約	吉果]						
		`平性改善	[公	平性⑨の結界	!]						
	□現	!状維持•継続	⇒(3)具体的	内な改善計画	は不要						
		11 11 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -			_						
		的な改善計画				し、具体的にどのよう					
_		2 4年度の取組 放置林等も存在				② 平成25年度に耳 森林整備を進める上		・き具体的な内容 原因である不在村者への施業の推進を図るため、不			
て要	間伐推		直する必要があ	らるもの)を指?	定し、森 在	村者を調査する森林					

評価対象	年度	平成 23年度	事:	務事業評	価 表	<補助金				様式2
事務事コード		742414	· 務 · 業名	林整備事業					農林水産	
政策名			*米 つ こやさしいま <i>t</i>	うづくり				担 ョ 麻 グループ		
施策名			環境の保全					電話番号		
基本事業	業名	2 森林の	の保全					内線番号	2362	
_	会計	一般会計			事業	<u> </u>	度のみ			
予算	款		k産業費 -		期間	-	度繰返 (開始年 四中 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15)
科	項 目	2 林業事 5 森林事	費 整備事業費		H III I	□期間	限定複数年度(~	,)
目	コード	742414	全 佣 尹 未 負		根拠法令· 条例等	森林•林業基	本法			
補助金	È	□ 団体のi	工工 軍党支採	 ■ 団体の活動支	·挥 □	イベント等の	一補助 □	協議会等負	———— 坦全	
負担金		-		-	1/2	11 21 40	7 Im 193	加俄五寸民.	1= M	
1. 現状把		(1)事務事業 *東業の概要)	の日的と指摘	<do></do>						
		等事業の概要) 業畜欲の向上と	使みか本材を	育み、自然環境を保全	◇オステレた日	めい ア 吟朗	伏に重要毒の1	10/ /七类败勾	4の脚弛に重	1業専の2
2%の補助 【事業実施	を行い、 主体】始 】作業路	森林の適切な約	維持を図る事業 合、姶良西部系	きである。 森林組合、北姶良森材				7 / VI JKJA	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	· X. X. V. O
作業路等開森林施業(原	設整備									
補助金•1	負担金	の交付先霧	島市内の3つの	の森林組合	補具	助金の対象 総		業路等開設組		
② 活動指	旨標 (事	事務事業の活動	量)			単位	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (見込)	25年度 (見込)
ア作業路	等開設	延長				m	2,93			2,247
イ 施業実	施面積					ha	46	5 374	400	440
ウ										
③ 対 第		、何を 象にしているの <i>が</i>	(4) 対象	指標 (③対象の)	大きさを そす指標)	単位	22年度		24年度	25年度
ア民有林		然にしている の//		計画面積	て9 1日(示)	ha	(実績) 12,88	(実績) 4 13,106	(見込) 13,106	(見込) 13,106
1			7011 700 710	пши		110	12,00	10,100	10,100	10,100
<mark>*</mark> ⑤意 逐	対	象を	⑥ 成果	比極 (⑤意図の		単位	22年度	23年度	24年度	25年度
		どうしたいのた な林の整備が図	(4)	直積/森林施業計画	を表す指標)	* W	(実績)	(実績) 4 7	(見込) 10	(見込) 13
れる。			旭果夫旭	山 惧/ 淋শ 旭 来 計	1	70		4 7	10	13
1										
ウ										
⑦結 界	艮 (ど	んな結果に 結び付けるのか	8 上位		果の達成度 表す指標)	単位	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (見込)	25年度 (見込)
ア森林が				た森林面積		ha	33.		42.3	(382)
1										
(2)事業書	*		単位:千円	(3)事務事業のE	冒谙変化▪住	民音目等				
		23年度	24年度	の事務事業	は、いつ頃、	どのような		を取り巻く環		
		(決算)	(予算)	せきっかけで開始			**	と比べてどう	変わったの)
当初一			9,000	とから森林組合から	の要請があり、		/N/17/11/11/11/11/11/11/11/11/11/11/11/11/	MC (1.2)。		
算 補 正		算 19,000	0.000	から助成を開始した	-0					
ア 昇		計 12,000	9,000							
国庫	補助	金	1		に対して誰も	いらど 4.た音	_ この主教	事業に対す	ス議会から	出された
	出		-	③ この事務事業 見や要望が寄	せられている	るか?	④ 意見	尹★1〜別り'	の成女がら	шели:
決地			1	森林所有者からは			特になし。			
算るその	の	他	1	備へ更に支援の拡	元を収める声7	いめる。				
	財	源 10,722	1							
支 出	合	計 10,722								

 事務事業 コード
 742414
 事務 事業名
 森林整備事業
 担当部 農林水産部 担当課 林務水産課

■運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位: 千円

		寸	体名	3•協	議会	名				平成23年 (決算)	度	平成24年 (予定)		平成25年 (予定	
										補助金	6,617	補助金	4,285	補助金	4,285
	姶良東語	部森林	組合							自主財源	30,890	自主財源	38,565	自主財源	38,565
1	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計	37,507	合計	42,850	合計	42,850
	地区		0	111.0	1001	0 1		0	0	自主財源率	82%	自主財源率	90%	自主財源率	90%
									Ü	補助金	2,512	補助金	2,662	補助金	2,662
	北姶良和	森林組	合							自主財源	22,608	自主財源	23,958	自主財源	23,958
2	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計	25,120	合計	26,620	合計	26,620
	地区				0	0				自主財源率	90%	自主財源率	90%	自主財源率	90%
	** ** ***	+n -k- ⊥⊥ /	.n. ^							補助金	1,593	補助金	2,053	補助金	2,053
	姶良西部	邻森 杯	祖台							自主財源	9,481	自主財源	12,427	自主財源	12,427
3	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計	11,074	合計	14,480	合計	14,480
	地区			0						自主財源率	86%	自主財源率	86%	自主財源率	86%
					ı					補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
4	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
	地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
	<u>. </u>			I.	ı					補助金		補助金		補助金	
_										自主財源		自主財源		自主財源	
5	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
	地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
					l				ı	補助金		補助金		補助金	
_										自主財源		自主財源		自主財源	
6	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
	地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
										補助金		補助金		補助金	
7										自主財源		自主財源		自主財源	
′	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
	地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
										補助金		補助金		補助金	
8										自主財源		自主財源		自主財源	
Ĭ	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
	地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
										補助金		補助金		補助金	
9		1		I		1			1	自主財源		自主財源		自主財源	
١	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
	地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
										補助金		補助金		補助金	
10										自主財源		自主財源		自主財源	
	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
	地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
			計	-						補助金負担金合計	10,722	補助金負担金合計	9,000	補助金負担金合計	9,000
										自主財源合計	62,979	自主財源合計	74,950	自主財源合計	74,950
										自主財源率	85%	自主財源率	89%	自主財源率	89%

■負担金の状況

単位:千円

	- 1 - 1 - 4 - 5		平成23年度	平成24年度	平成25年度		負扣金(の支払先	12. 111
	団 体 名•協議会名		(決算)	(計画)	(予定)	全国	九州	県	その他
1		負担金額							
2		負担金額							
3		負担金額							
4		負担金額							
5		負担金額							
		合計							

当初予算	Ī	12,000
補正予算	Ī	
合 함	ŀ	12,000

<補正予	算内訳>				単位:千円
第1回		第4回		第7回	
第2回		第5回		第8回	
第3回		第6回			

	务事業 Iード	742414	事 務 事業名	森林整備	i事業			<mark>担 当 部</mark> 農林水産部 <mark>担 当 課</mark> 林務水産課				
2		形 <see></see>				評価		評価理由				
Α	・この (基)	本シートの結	目的は基本事 果) に結びつく			ついている す必要が	-		こより森林施業が進み、森林整備が図られ、その結 整備が保全される。			
目的妥当	・なっ	·?	は負担しなけ	ればならない	■ 妥当	である す必要が	ある	森林・林業基本法第6条に「地方公共団体は、基本理念にのっとり、森林及び林業に関し、国との適切な役割分担を踏まえて、その地方公共団体の区域の自然的経済的社会的諸条件に応じた施策を策定し、実施する責務を有する」と規定されており、森林の保全は市の役割としていることから支援することが妥当である。				
性評価	· 対 』		党定又は追加す	 ナベきか?	■ 適切である□ 対象を見直す必要がある□ 意図を見直す必要がある			国・県の 切である。	補助制度と同様の対象・意図を設定しているため、適			
В	·成	の向上余り 果指標の現状 せることができ	は値をあるべき	水準まで向	□ 向上余地はない (十分に成果が出ている) ■ 向上余地がある			意が得られ	次や木材価格の低下等により、森林所有者からの同れず適切な森林整備が行われない民有林(放置林)るため、間伐推進員活動等をさらに活用することにより上余地がある。			
有効性評	・補J した	助金又は負担 場合にどのよ	集への影響 全の交付を厚 うな影響がある	隆止又は休止 るか?	影響			負担増と	村価格が低迷しており、補助金がないと施業経費のなる。廃止すれば森林所有者の意欲が減退し、施業少する恐れがあり、森林保全に与える影響が大きい。			
価	·他(こ同様の補助	祝廃合・連携 J金又は負担会 Tることができた	をはないか?	■他に手段がない□他に手段がある□統合できない □連携□統合できる □連携			できない	(他に手段がある場合の事務事業名等)			
C	·交(費の削減 が 付先に働きか ができないか	けて、市の負	担を削減する		余地がな			各が低迷している現在は補助金がないと施業経費が ない状況であり、これ以上、事業費を削減するのは困			
効率性評価	⑧ 人华	‡費(延べ業	(事務事業に		■削減余地がない □削減余地がある				容は補助金の支払いの事務であり、これ以上の業務 は難しい。			
D公平性評価	・補! てい	助金又は負担 て不公平でに	負担の適正 日金が一部の受 はないか? な子公正になっ	受益者に偏っ		・公正であ			終は森林組合を通じて山林所有者を対象として補助を であり公平である。			
総括	A 目 B 有 C 效	V評価者 (課 的妥当性 効性 郊性 率性 ·平性	長)としての ■ 適切 □ 適切 ■ 適切 ■ 適切	□ 見直す必 ■ 見直す必	本事業等の効果かんでいる。一方で、 必要がある た森林もまだ存在 行い、今後も引き			いら森林整備 森林所有を しているため	を省点) 構への関心が高まりつつあり比較的間伐や造林が進 者から森林整備に関しての同意が得られず放置され め、森林整備のみならず森林保全の重要性の啓発を 備を積極的に進めることで事業の有効性を高める。			
		方向性 <pl< th=""><th></th><th>Tri.</th><th><u> </u></th><th></th><th>/a\rightard</th><th>→ 1.1.1.1</th><th></th></pl<>		Tri.	<u> </u>		/a\rightard	→ 1.1.1.1				
(1)	廃・仕上的業別卒平	- 再設定 統合・連携 性改善(成果 性改善(コス	[目的妥 [目 [有 【向上) [有 	当性①②、有 当性①②、有 的妥当性①③ 効性⑥の結果 効性④の結果	効性⑤の の結果] 引 き] も果]		(2)廃止)	人は休止 9	すべきとした場合の理由			
		な改善計画		(1)のチェック		けし、具体	的にどのよ	うに取り組む	じのか			
この んで ぎ 離)事業に いるが、 得られず のみなら	より森林所有 一方で、森林 が散置されたる	み概要及び。 者の意識が高 所有者から森 条林もまだ存在 の重要性の啓 こ進める。	まり、森林保全 林整備に関し こしているため	全が進 ての同 、森林		25年度に耳 度に引き続き		き具体的な内容 3業を行う。			

(2)事業費			単位:千円
		23 ^会 (決		24年度 (予算)
子	当初予算額		30	30
予算額	補正予算額			
頟	予算合計		30	30

	国庫補助金	
	県支出金	
決算	地方債	
解額	その他	
	一般財源	30
	支出合計	30

この事務事業に対して誰からどんな意 見や要望が寄せられているか?

小学校関係者より自然風土を生かした教育 が得られることは子供達にとっても意義のあるこ となので、事業を続けてほしいとの要望有り。

この事務事業に対する議会から出された 意見

特になし。

 事務事業
コード
 742611
 事務
事業名
 なぎさの少年団育成事業
 担当部
担当課
 農林水産部
担当課

■運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位・千円

団 体名・協議会名										平成23年 (決算)		平成24年 (予定)		平成25年度 (予定)		
	41. 1	W 1 L 4.	، ما شد							補助金	30	補助金	30	補助金	30	
	福山小	学校な	きさのク	少年団						自主財源	30	自主財源	30	自主財源	30	
1	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計	60	合計	60	合計	60	
	地区								0	自主財源率	50%	自主財源率	50%	自主財源率	50%	
			1		1					補助金		補助金		補助金		
										自主財源		自主財源		自主財源		
2	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計		
	地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
				Į.		1	I.		Ų.	補助金		補助金		補助金		
										自主財源		自主財源		自主財源		
3	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計		
	地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
							ı			補助金		補助金		補助金		
										自主財源		自主財源		自主財源		
4	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計		
	地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
										補助金		補助金		補助金		
_										自主財源		自主財源		自主財源		
5	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計		
	地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
										補助金		補助金		補助金		
										自主財源		自主財源		自主財源		
6	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計		
	地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
										補助金		補助金		補助金		
										自主財源		自主財源		自主財源		
7	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計		
	地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
				Į.		1	I.		Ų.	補助金		補助金		補助金		
_										自主財源		自主財源		自主財源		
8	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計		
	地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
				Į.		1	I.		Ų.	補助金		補助金		補助金		
										自主財源		自主財源		自主財源		
9	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計		
	地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
寸									•	補助金		補助金		補助金		
,										自主財源		自主財源		自主財源		
10	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計		
	地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
			討	<u> </u>						補助金負担金合計	30	補助金負担金合計	30	補助金負担金合計	30	
								自主財源合計	30	自主財源合計	30	自主財源合計	30			
										自主財源率	50%	自主財源率	50%	自主財源率	50%	

■負担金の状況

単位:千円

	団 体名・協議会名		平成23年度	平成24年度	平成25年度		負担金(の支払先	124 • 1 1 4
	凹 体石 励 硪 云 石		(決算)	(計画)	(予定)	全国	九州	県	その他
1		負担金額							
2		負担金額							
3		負担金額							
4		負担金額							
5		負担金額							
		合計							

当初予算	30
補正予算	
合 計	30

<補正予	算内訳>				単位:千円
第1回		第4回		第7回	
第2回		第5回		第8回	
第3回		第6回			

	務事 コード		事 務 事業名	なぎさのか	少年団育原	龙事業			<mark>担 当 部</mark> 農林水産部 <mark>担 当 課</mark> 林務水産課			
2	平価	の部 <see></see>				評価		評価理由				
А	1	政策体系との翌 ・この事務事業の (基本シートの結り	を合性 目的は基本事 果) に結びつく		■ 結びつ □ 見直す	いてい	_	この事業を通して錦江湾の生物を知る機会が得られ、錦江湾の環境に対する関心と理解が深まるので政策体系に結びついている。				
目的妥当		公共関与の妥≧ ・なぜ市が補助又 のか?	は負担しなけ	ればならない	■ 妥当である□ 見直す必要がある			小学生の頃から「なぎさ」に関する多様な体験活動を実施する ことで、環境問題や自分達の手で身近な海を守っていかなけれ ばならないという意識を持ってもらう動機づけを行えるため妥当 である。				
性評価)	対象・意図の妥 対象や意図を限 		-べきか ?	■ 適切である □ 対象を見直す必要がある □ 意図を見直す必要がある			霧島市内の学校に呼びかけているが、手をあげて事業をやり たいという所が見当たらない。福山小学校だけがやりたい意思 を持っている。				
В		成果の向上余り ・成果指標の現状 上させることができ	値をあるべき	水準まで向	■ 向上弁 (十分	に成果な	が出ている)	事業目的	的以上の成果向上は見込めない。			
有効性評		廃止・休止の成 ・補助金又は負担 した場合にどのよ	!金の交付を属 うな影響がある	Ĕ止又は休止 るか?	影響がある□ 影響がない				然に触れ合う子ども達が少ない中、この事業が廃止と 3一層その体験活動の機会を失うことになる。			
価		類似事業との制・他に同様の補助・統廃合や連携す	金又は負担金	注はないか?		-段があ 合できな	る い □ 連携	できない	(他に手段がある場合の事務事業名等)			
C 効	,	事業費の削減 が・交付先に働きからことができないか・	けて、市の負i ?		■削減分		l)	まできる 児童数が減少するなかでこれ以上の市の負担削減は難				
率性評価		人件費(延べ業 ・やり方を工夫して 間を削減できない	で事務事業に付か?	系る業務時	■ 削減余地がない			自主活動がほとんどであり、予算執行事務が主なものであり減余地はない。				
D公平性評価		受益機会・費用 ・補助金又は負担 ていて不公平では ・受益者負担が公	!金が一部の勇 はないか?	を益者に偏っ	■ 公平・公正である □ 見直す必要がある				区は福山小学校のみの限定されているが、門戸は広 ので公平・公正である。(呼びかけをしていく必要あり)			
		1次評価者(課	·			(2)全	体総括(振	り返り、反	2省点)			
総	ı	A 目的妥当性 B 有効性	■適切		必要がある 学校全体で取組ん			っ でいるのて	で、今後とも海岸線にある組織として活動を見守りたい。			
括		C 効率性 D 公平性	■ 適切■ 適切		必要がある 必要がある							
2 .	.	の方向性 <pl< th=""><th></th><th>_ ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,</th><th>, , , , , ,</th><th></th><th></th><th></th><th></th></pl<>		_ ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	, , , , , ,							
		両結果にもとづく		性			(2)廃止3	スは休止す	すべきとした場合の理由			
		廃止 休止 目的再設定 事業統合・連携 有効性改善(成果 効率性改善(コス 公平性改善 現状維持・継続	[目的妥 [目 [有 !向上) [有 ト削減) [効 [公	率性⑦⑧の絹 平性⑨の結果	効性⑥の約 ②の結果] - - - - - - - - - - - - - - - - - - -							
(3)	且仂	体的な改善計画	*	(1)のチェック	7項目に対	具体	的にどのよ	うに取り組ま	ተ:			
		24年度の取組							き具体的な内容			
								_				

(2) 事業質			単位:千円
			F度 算)	24年度 (予算)
予	当初予算額		352	315
予算額	補正予算額			
頟	予算合計		352	315
	国庫補助金	•	·	

264

264

県支出金

地方債

その他

一般財源

支出合計

算

額

特になし

この事務事業に対して誰からどんな意	この事務事業に対する議会から出された
見や要望が寄せられているか?	意見

特になし

 事務事業
コード
 742111
 事務
事業名
 みどりの少年団育成事業
 担当部
担当課
林務水産課

■運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位: 千円

■連宮支援・活動支援・イベントの補助等の状況 団体名・協議会名								ź	会員数	平成23年 (決算)	度	平成24年 (予定)		平成25年 (予定)	
			- -	^						補助金	23	補助金	23	補助金	23
	竹子緑の	り少年し	並育 成	会					27 人	自主財源	146	自主財源	143	自主財源	143
1	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計	169	合計	166	合計	166
	地区			0						自主財源率	86%	自主財源率	86%	自主財源率	86%
	雨白小	3 0 10	-	nı	. ^		ı		11 1	補助金	23	補助金	23	補助金	23
	霧島山絲	家の少	午凹 月	八]亜				11 人	自主財源	50	自主財源	50	自主財源	50
2	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計	73	合計	73	合計	73
	地区					0				自主財源率	68%	自主財源率	68%	自主財源率	68%
	霧島小絲	ュの小	- =						14 1	補助金	23	補助金	23	補助金	23
2	務局小常	*0)少-	中凹						14 人	自主財源	111	自主財源	250	自主財源	250
3	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計	134	合計	273	合計	273
	地区						0			自主財源率	83%	自主財源率	92%	自主財源率	92%
	塩小中穏の小左尺				26 1	補助金	23	補助金	23	補助金	23				
	福山中緑の少年団					26 人	自主財源	121	自主財源	121	自主財源	121			
4	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計	144	合計	144	合計	144
	地区								0	自主財源率	84%	自主財源率	84%	自主財源率	84%
	##	3 A J.	- =						co 1	補助金	23	補助金	23	補助金	23
_	安良小約	家の少	中凹						68 人	自主財源	135	自主財源	150	自主財源	150
5	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計	158	合計	173	合計	173
	地区				0					自主財源率	85%	自主財源率	87%	自主財源率	87%
	.≥ → /# I	LLE		ı		1	ı		Į.	補助金	149	補助金	200	補助金	200
	バス借り上げ									自主財源		自主財源		自主財源	
6	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計	149	合計	200	合計	200
	地区			0	0	0	0		0	自主財源率		自主財源率		自主財源率	
				ı		1	ı			補助金		補助金		補助金	
,										自主財源		自主財源		自主財源	
7	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
	地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
	·									補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
8	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
	地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
										補助金		補助金		補助金	
_										自主財源		自主財源		自主財源	
9	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
	地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
										補助金		補助金		補助金	
.										自主財源		自主財源		自主財源	
10	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
[地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
計						146 人	補助金負担金合計	264	補助金負担金合計	315	補助金負担金合計	315			
						<u> </u>		自主財源合計	563	自主財源合計	714	自主財源合計	714		

■負担金の状況

単位:千円

	口 从 点 劫 举 人 点	平成23年度	平成24年度	平成25年度	負担金の支払先				
	団 体 名 · 協 議 会 名		(決算)	(計画)	(予定)	全国	九州	県	その他
1		負担金額							
2		負担金額							
3		負担金額							
4		負担金額							
5		負担金額							
		合計							

当初予算	352
補正予算	
合 計	352

<補正予算内訳 >												
第1回			第4回			第7回						
第2回			第5回			第8回						
第3回			第6回									

	务事業 一ド	742111	事 務 事業名	みどりの	少年団育原		_	<mark>担当部</mark> 農林水産部 担当課本務水産課		
2	評価の部	形 <see></see>				評価		評価理由		
Α	・この (基)	本シートの結り	目的は基本事 果) に結びつく		■ 結びつ□ 見直す	いている ⁻ 必要がある		う少年少女の活動を通じ、自然環境に対する関心が め森林の保全へ結びついている。		
的妥当			当性 は負担しなけ	ればならない	■ 妥当で	⁻ 必要がある	次代を担う少年少女に対して、自然環境の学習に取り組むことは妥当である。			
性評価		*・意図の妥 象や意図を限	当性 定又は追加す	ナベきか?		がある ・見直す必要がある ・見直す必要がある	少年団員に自然環境に対する関心を高めてもらうためあり対象・意図とも妥当である。			
В	•成』 上さ	せることができ	さ値をあるべき きるか?		(十分	□ 向上余地はない (十分に成果が出ている) ■ 向上余地がある				
有効性	·補」	助金又は負担	果への影響 1金の交付を厚 うな影響がある	を止又は休止	■ 影響か			の少年団の運営状態が難しい状況にあるなか、 廃止した場合、活動に大きな影響が考えられる。		
評価			·廃合·連携		■他に手		Į.	(他に手段がある場合の事務事業名等)		
Щ			」金又は負担会 ⁻ることができた				できない できる	森林保全を目的とした、少年・少女対象の団体はなく、他の団体との統合は難しい。		
C 効	·交	費の削減 付先に働きか ができないか・	けて、市の負	担を削減する		き地がない		としての体験学習等の部分を補助しているため教材減はできない。		
%率性評価	اج.		務時間)の で事務事業にか?			■ 削減余地がない 緑の少年団の活動は自主的な活動が主であり、な役割である。				
D公平性評価	・補り てい	助金又は負担 て不公平でに	負担の適正 !金が一部のう はないか? :平公正になっ	受益者に偏っ		公正である ⁻ 必要がある	各みどりの	n少年団に同様の補助を行っており、公平である。		
	(1)18	マ評価者(課	長)としての	評価結果		(2)全体総括(振	り返り、反	2省点)		
総括	B 有	的妥当性 効性 ¤性	適切適切適切	□ 見直す必■ 見直す必□ 見直す必	必要がある			進し、緑の少年団員を増やしたい。そのためには親の の広報、周知にも力をいれたい。		
	D 公	·平性	適切	□ 見直す必	必要がある					
		r向性 <pl< th=""><th></th><th>Let</th><th><u> </u></th><th></th><th></th><th></th></pl<>		Let	<u> </u>					
(1)	評価結 □ 廃止		<mark>今後の方向</mark>]性 ·当性①②、有	が外のの		又は休止す	すべきとした場合の理由		
	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	- 1再設定 :統合・連携 1性改善(成果 ・性改善(コス ・性改善	[目的妥 [目 [有 【向上) [有 卜削減) [効	当性①②、有 的妥当性①② 効性⑤の結果 効性④の結果 効性④の結果 率性⑦⑧の結果 平性⑨の結果	効性⑥の編 の結果] - -					
	<i>5</i> 1/	、中田 1-47、中国 49C	一(0)条件	いよ以告日 四	は二、女	1				
① 緑(るこ)	平成23 : の少年団	員がイベント	※ み概要及び に参加をする。 員がイベントを	期待される な ための環境作	加果 ② りをす ⑤	<mark>し、具体的にどのよ</mark>) 平成24年度に 可員の拡大に努め、	取り組むべ			

基本シート

実行委員会のあり方を再考する時期にきてい

る。

特になし。

県支出金

地方債

その他

一般財源

支出合計

1,000

1,000

算

額

 事務事業 コード
 742612
 事務 事業名
 點まつり開催事業
 担当部 農林水産部 担当課 林務水産課

■運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位: 千円

			団	体名	呂・協	議会	名				平成23年 (決算)		平成24年 (予定)		平成25年 (予定)	
	7	<u> </u>	- /	^							補助金	920	補助金	920	補助金	920
	11年7日	まつり	実行委	会員会							自主財源	511	自主財源	666	自主財源	666
1	5	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計	1,431	合計	1,586	合計	1,586
	f	地区							0		自主財源率	36%	自主財源率	42%	自主財源率	42%
				I.			1	1		1	補助金		補助金		補助金	
_											自主財源		自主財源		自主財源	
2	5	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
	f	地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
											補助金		補助金		補助金	
_											自主財源		自主財源		自主財源	
3	5	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
	f	地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
4	5	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
	f	地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
	·										補助金		補助金		補助金	
_											自主財源		自主財源		自主財源	
5	3	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
	f	地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
											補助金		補助金		補助金	
_											自主財源		自主財源		自主財源	
6	5	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
	f	地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
	·										補助金		補助金		補助金	
,											自主財源		自主財源		自主財源	
7	5	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
	f	地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
											補助金		補助金		補助金	
0											自主財源		自主財源		自主財源	
8	3	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
	f	地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
											補助金		補助金		補助金	
0											自主財源		自主財源		自主財源	
9	5	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
	f	地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
											補助金		補助金		補助金	
10											自主財源		自主財源		自主財源	
10	3	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
	j	地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
				計	-					-	補助金負担金合計	920	補助金負担金合計	920	補助金負担金合計	920
											自主財源合計	511	自主財源合計	666	自主財源合計	666
											自主財源率	36%	自主財源率	42%	自主財源率	42%

■負担金の状況

単位:千円

	団 体名・協議会名		平成23年度	平成24年度	平成25年度		負担金(の支払先	.1.7.
	凹 体石 励 硪 云 石		(決算)	(計画)	(予定)	全国	九州	県	その他
1		負担金額							
2		負担金額							
3		負担金額							
4		負担金額							
5		負担金額							
		合計							

当初予算	920
補正予算	
合 計	920

<補正予	<補正予算内訳>													
第1回			第4回			第7回								
第2回			第5回			第8回								
第3回			第6回											

	務事業 コード	742612	事 務 事業名	鮎まつり	開催事業			担当 部 機 機 大 大 大<		
_		部 <see></see>				評価		評価理由		
A	① 政:	策体系との整の事務事業の では、本シートの結果	<mark>を合性</mark> 目的は基本事			フいている け必要がある	然豊かな	の自然体験や川の生物を知ることにより天降川が自 川であることを知る機会が得られ、川の環境に対する 解が深まるので結びついている。		
目的妥当	•な	共関与の妥当 :ぜ市が補助又 か?		ればならない	■ 妥当で	である ナ必要がある	環境問題について関心が多い昨今、市民ひとりひとりが環境 問題や自分達の川を守っていかなければならないという意識を 多くの市民に持ってもらう動機づけを行う事業であるため妥当で ある。			
性評価		象・意図の妥 t象や意図を限		ナベきか?		である E見直す必要がある E見直す必要がある	意図もまっ	市、県内外を問わず多くの人が来場でき妥当である。 つりを通して霧島市を流れる天降川の自然を市、県内 ールし環境に関しての意識を高めてもらうために妥当		
В	·成	果の向上余り は果指標の現状 させることができ	は値をあるべき	水準まで向	(十分		来場者の	の目的が決まっているので、成果向上余地はない。		
有効性	·補	止・休止の成 前助金又は負担 に場合にどのよ	!金の交付を厚	産止又は休止	■ 影響が			上場合、霧島市の川は鮎が遡上する自然豊かな川で 県内外の人々に知ってもらう機会が減る。		
価	·他	似事業との制 に同様の補助 に廃合や連携す	金又は負担会	全はないか?	□ 他に引	F段がない F段がある 合できない □ 連携		(他に手段がある場合の事務事業名等)		
C 効	·交	業費の削減分 付先に働きか なができないかっ	けて、市の負	担を削減する	□削減須	合できる □ 連携 こはずない これがない これがある		日の鮎の売上げが増加すれば事業費削減の余地あ		
率性評価	۶.	件費(延べ業 。り方を工夫して を削減できない	て事務事業に					会の委員の属する地域や各団体がそれぞれ準備段 カしていただけると業務時間の大幅な削減がある。		
D公平性評価	・補 てV	益機会・費用 前助金又は負担 いて不公平でに : 益者負担が公	l金が一部の5 はないか?	受益者に偏っ		公正である け必要がある		を問わず県内外の参加したいと思うすべての人が対 公平である。		
	(1)1	次評価者(課	長)としての	評価結果		(2)全体総括(振	り返り、反	(省点)		
総括	В 7 С 3	目的妥当性 有効性 効率性 公平性	■ 適切 □ 適切 □ 適切 ■ 適切	■ 見直す必 ■ 見直す必	が要がある が要がある が要がある が要がある		を食べたい	崔しであるが,ここ最近は漁協の関わりが少なくなってい 、鮎を買いたいというだけの催しになっている。実行委 ている。		
		方向性 <pl< th=""><th></th><th></th><th><u> </u></th><th></th><th></th><th></th></pl<>			<u> </u>					
(1)	評価紀	ま果にもとづく					又は休止す	すべきとした場合の理由		
	□ 事事 有		[目的妥 [目 [有 [向上) [有 卜削減) [効 [公	率性⑦⑧の結 平性⑨の結果	効性⑥の糸 ②の結果] - - - - - - - - - - - - - - - - - - -					
(3)	且休必	な改善計画	×-	(1)のチェック	が直日にか	し、具体的にどのよ [、]	うに取り組ま	たのか		
		は年度の取組)平成25年度にE				
		会の事務局移行				平成24年度の検討結				

一般財源

支出合計

60

60

 事務事業
 742110
 事務 事業名
 しいたけ生産組織育成事業
 担当 部 農林水産部

■運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位:千円

		団	体名	呂・協	議会	名		Í	会員数	平成23年 (決算)	度	平成24年 (予定)		平成25年 (予定)	
	霧島市村	# 告 拒	銀合						27 人	補助金	60	補助金	60	補助金	60
1	※ 回り1	性 耳 派 :	共五						21 人	自主財源	52	自主財源	54	自主財源	54
'	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計	112	合計	114	合計	114
	地区		0		0	0		0		自主財源率	46%	自主財源率	47%	自主財源率	47%
										補助金		補助金		補助金	
2										自主財源		自主財源		自主財源	
_	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
	地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
										補助金		補助金		補助金	
3										自主財源		自主財源		自主財源	
٦	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
	地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
										補助金		補助金		補助金	
4										自主財源		自主財源		自主財源	
7	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
	地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
										補助金		補助金		補助金	
5										自主財源		自主財源		自主財源	
3	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
	地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
										補助金		補助金		補助金	
6										自主財源		自主財源		自主財源	
0	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
	地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
										補助金		補助金		補助金	
7										自主財源		自主財源		自主財源	
′	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
	地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
										補助金		補助金		補助金	
8										自主財源		自主財源		自主財源	
°	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
	地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
										補助金		補助金		補助金	
9										自主財源		自主財源		自主財源	
٦	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
	地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
										補助金		補助金		補助金	
10										自主財源		自主財源		自主財源	
10	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
	地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
			計						27 人	補助金負担金合計	60	補助金負担金合計	60	補助金負担金合計	60
								•		自主財源合計	52	自主財源合計	54	自主財源合計	54
										自主財源率	46%	自主財源率	47%	自主財源率	47%

■負担金の状況

単位:千円

	- 1 - 1 - 4 - 5		平成23年度	平成24年度	平成25年度		負扣金(の支払先	12. 111
	団 体 名 協議 会 名		(決算)	(計画)	(予定)	全国	九州	県	その他
1		負担金額							
2		負担金額							
3		負担金額							
4		負担金額							
5		負担金額							
		合計							

当初予算	60
補正予算	
合 計	60

<補正予算内訳 >												
第1回			第4回			第7回						
第2回			第5回			第8回						
第3回			第6回									

	务事業 Iード	742110	事 務事業名	しいたけ	生産組織す	育成事業		担当部│農林水産部 担当課 林務水産課		
2	評価の部	那 <see></see>				評価		評価理由		
А	・この (基:	本シートの結り	目的は基本事 果) に結びつく			Dいている 「必要がある		生産組織を支援し、経営体の強化を図ることで、政策 『びついている。		
目的妥当			当性 は負担しなけ	ればならない	■ 妥当で □ 見直す	である F必要がある	しいたけ生産組織の育成は林産物の振興を図るのにつながり 妥当である。			
性評価		快・意図の妥 象や意図を限	当性 定又は追加す	ナベきか?		である - 見直す必要がある - 見直す必要がある		いたけ振興会員であり、意図は生産量の増大であるた な産業の振興につながり適切である。		
В	·成	・ の向上余り 果指標の現状 せることができ	は値をあるべき	水準まで向	(十分		しいたけ振興会を通じて組織的に活動する事により、しいた 乾燥機購入等の補助事業が受けられ、生産性の向上につる。 補助金を廃止した場合、研修会や現地検討会等の活動の が減少し、組織の衰退につながる。			
有効性	·補」	助金又は負担	果への影響 1金の交付を厚 うな影響がある	産止又は休止	■ 影響が □ 影響が					
価	·他(に同様の補助	充廃合・連携 」金又は負担金 「ることができた	をはないか?	□ 他に引	E段がない E段がある 合できない □ 連携 合できる □ 連携		(他に手段がある場合の事務事業名等)		
C A	·交(養野の削減が 付先に働きかいできないかい	けて、市の負	担を削減する	■削減分	<u></u>	生産者は今後も安	上県の『かごしま農林水産物認証制度』を受けており、 心・安全な県産特用林産物の供給体制づくりを続ける必要である。		
効率性評価	اج.		務時間)の で事務事業にか?					デが主な業務であり、事務局も委任されず職員の負担も め削減余地はない。		
D公平性評価	・補り てい	助金又は負担 て不公平では	負担の適正 1金が一部の5 はないか? ×平公正になっ	受益者に偏っ		公正である 「必要がある		産業の振興のため、事業者として生産者組織に加入 するものであり、公平である。		
An			長)としての	評価結果		(2)全体総括(振	り返り、反	支省点)		
総		的妥当性	道切	□見直す必						
4ac		「効性 □率性	■ 適切■ 適切	□ 見直す必□ 見直す必		生産高を増やし、		!入を得るにはどのような補助事業をすればいいのかずある。		
括)平压 :平性	■適切	□ 兄直9 を□ 見直する				•		
2 .		·一任 方向性 <pl< th=""><th></th><th>□ 元旦 9 %</th><th>マンタック</th><th></th><th></th><th></th></pl<>		□ 元旦 9 %	マンタック					
			今後の方向	性		(2)廃止、	又は休止す	すべきとした場合の理由		
	□ 廃止	_	[目的妥	·当性①②、有	「効性⑥の約	吉果]				
				·当性①②、有		吉果]				
]再設定 ┊統合・連携		的妥当性①② 効性⑤の結界						
	_ : :	性改善(成果	=	効性④の結果	_					
			ト削減) [効							
		性改善	L公 ⇒(3)具体的	平性⑨の結果	_					
	<u> 57.17</u>	小庄1寸 - 州至小儿	→(5) 共体F	いな以告り回	は小女					
(3)	具体的	な改善計画	*	(1)のチェック	ク項目に対	し、具体的にどのよ	うに取り組む	むのか		
1	平成23	年度の取組の	み概要及び	期待される対	効果 ②)平成24年度に耳	反り組むべ	ドき具体的な内容		

評価対象	年度	平成 2	23年度	事 務 事	業 評	価 表	<補助金・負担金用	>	様式2			
事務事		742	415 事務	森林整備地	は活動 古	平重業			農林水産部			
П	ド	172	事業名	本本で主が	场/日均人]	及于木		担当課	林務水産課			
政策:	名	3	活力ある産業	雀のまちづくり				グループ	林務グループ			
施策	名	1	農・林・水産	業の振興			45-5111					
基本事	業名	1	農林漁業経	営体への支援				内線番号	2362			
	会計	一角	殳会計			viit	□ 単年度のみ					
予	款	6	農林水産業	費		事業 期間	□ 単年度繰返 (開始年度 年度~)					
算 科	項	2	林業費			2411b1	· H25)					
目	目	5	森林整備事	業費		根拠法令•	要綱					
	コード	742	415			条例等	鹿児島県森林整備地域活動	支援交付金交	付要綱			
補助:			団体の運営支	援 ■団体	の活動支	援 □	イベント等の補助 □	協議会等負	担金			
1. 現状抵	巴握	(1)事	務事業の目的	と指標 <do< th=""><th>o></th><th></th><th></th><th></th><th></th></do<>	o>							
①手段		务事業 の										
木材価格	の長期	にわた	る低米やコストの	増大等による森材	休所有者の	経営意欲の低	下、また林業従事者の減少・語	新齢化により林	業生産活動が停滞して			

第 6 章 2	農林水産業費		期間			(開始年度		年度~)				
科	林業費 森林整備事業費		I I I I I A	<u> </u>	間限定複数		H14 ~	H25)			
н			根拠法令・ 条例等				交付金交付 爱交付金交付					
湖 助全				7676 ED 717/19	VIIIE /m>C							
負担金別]団体の運営支援	■ 団体の活動支持	援 🗆	イベント等	の補助	□協	議会等負担	旦金				
1. 現状把握 (1) 導	事務事業の目的と指標	<do></do>										
① 手 段 (事務事業)	の概要)											
木材価格の長期にわた	木材価格の長期にわたる低迷やコストの増大等による森林所有者の経営意欲の低下、また林業従事者の減少・高齢化により林業生産活動が停滞して											
おり、森林施業が的確に	実施されにくい状況となっ	っている。										
	·画に基づく協定を締結し) ·J金を交付し、山林の現況						ソ地域石動で	111つに場合	i'. ~1			
①森林経営計画(仮称)作 ②施業集約化の促進	乍成促進											
③作業路網の改良活動												
補助金・負担金の交付先 霧島市管内の3つの森林組合、霧島神宮、森林整備公社 補助金の対象経費 森林施業につながる地域活動												
② 活動指標 (事務事	(業の活動量)			単位	,	22年度	23年度	24年度	25年度			
					_	(実績)	(実績)	(見込)	(見込)			
ア支援交付金交付団体	本			団体		5	5	5	5			
1												
ゥ												
/ <i>⊐\</i> L /→ <i>→</i>	>	(3)対象のナ	トキさた			22年度	23年度	24年度	25年度			
	ているのか) ④ 対象		す指標)	単位	ኔ	(実績)	(実績)	(見込)	(見込)			
ア森林整備協定締結者	者(団体) 協定締結数			協定		125	48	48	48			
イ 森林施業計画対象区	マ城内の杰林 支援事業:	対象森林面積		ha		10,117	9,674	9,674	9,674			
(お母ナ、		(色芸図の				22年度	23年度	24年度	25年度			
	うしたいのか) 6 成果		を表す指標)	単位	<u>ኔ</u>	(実績)	(実績)	(見込)	(見込)			
ア間伐等森林整備が進	生む 支援交付会	金交付団体		団体		5	5	5	5			
1	森林施業記	計画 面積		ha		12,884	13,106	13,106	13,106			
	水水小瓜米口	1 년 1의 1명		110		12,001	10,100	10,100				
ゥ						, .						
⑦ 結 果 (どんな結 _{結びが}	吉果に 付けるのか) ⑧ 上位 」		果の達成度 長す指標)	単位	立	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (見込)	25年度 (見込)			
ア体質が強化される	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	を を 変える を 変える を 変える を で 変える で で で で で で で で で で で で の で の で の で の で の で の で の で の で の に の で の の で の の で の で の で の で の で の の の の の の の の の の の の の	C / 10/08/	ha		465	374	400				
7 仲寅がる日にないる	加至百杯77-77	世来を大地した面積				100	311	100	i			
1												
(2)事業費	単位:千円	(3)事務事業の環										
	23年度 24年度	① この事務事業は	は、いつ頃、	どのような	② 事	務事業を	取り巻く環 比べてどう	境は、開始	時期又			
	(決算) (予算)						では支援事業					
当初予算額	53,138 52,029	平成14年度より森林 国がこの事業を開始		と凶るため、	0円/ha	交付していた	こが、平成19年	年度より事業の	の内容により			
算補正及び流用額	-16				森林経営	計画制度が	るようになった 導入されたた	め、現在は森	林施業計画			
部 予 算 合 計	53,122 52,029						の移行期となる 活動の大幅な					
国庫補助金		③ この事務事業に 見や要望が寄せ	こ対して誰か	いらどんな意	(4) 三		業に対する	5議会から	出された			
県支出金	39,692											
<mark>決</mark> 地 方 債		特に要望・意見等は	奇せられてい	ない。	特になし	/						
額その他												
一般財源	13,430											
支 出 合 計	53,122											

 事務事業
コード
 742415
 事務
事業名
 森林整備地域活動支援事業
 担当部
担当課
 農林水産部
担当課

■運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

	営支援					議会					平成23年 (決算)	度	平成24年 (予定		平成25年 (予定	
											補助金	24,296	補助金	24,650	補助金	24,650
	姶良勇	1	森林網	組合							自主財源	21,200	自主財源	21,000	自主財源	21,000
1	対象	ź.	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計	24,296	合計	24,650	合計	24,650
	地區	ハ ト		0				0	0	0	自主財源率	,	自主財源率	,	自主財源率	,
									Ĭ		補助金	16,080	補助金	16,080	補助金	16,080
	北姶县	良森	林組合	合							自主財源	,	自主財源	,	自主財源	
2	対象	ė.	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計	16,080	合計	16,080	合計	16,080
	地區					0	0				自主財源率		自主財源率		自主財源率	
					ļ.						補助金	7,730	補助金	7,765	補助金	7,765
	姶良团	古部	森林組	組合							自主財源		自主財源	,	自主財源	
3	対象	· 杂	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計	7,730	合計	7,765	合計	7,765
	地區				0						自主財源率		自主財源率		自主財源率	
											補助金	2,296	補助金	2,510	補助金	2,510
	(社)	毘児	島県和	森林整	備公社	-					自主財源		自主財源		自主財源	
4	対象	ġ.	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計	2,296	合計	2,510	合計	2,510
	地区			0		0	0	0	0		自主財源率		自主財源率		自主財源率	
											補助金	650	補助金		補助金	
	霧島神	申宮	ï								自主財源		自主財源		自主財源	
5	対象	· 杂	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計	650	合計		合計	
	地區	· ·						0			自主財源率		自主財源率		自主財源率	
						l .					補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	·
6	対象	桑	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
	地区										自主財源率		自主財源率		自主財源率	
					ı	ı	1				補助金		補助金		補助金	
_											自主財源		自主財源		自主財源	
7	対象	杂	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
	地區	<u>X</u>									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
					ı						補助金		補助金		補助金	
_											自主財源		自主財源		自主財源	
8	対象	桑	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
	地区	<u>Χ</u>									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
											補助金		補助金		補助金	
•											自主財源		自主財源		自主財源	
9	対象	杂	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
	地區										自主財源率		自主財源率		自主財源率	
											補助金		補助金		補助金	
10	l										自主財源		自主財源		自主財源	
10	対象	杂	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
	地区										自主財源率		自主財源率		自主財源率	
				計	-						補助金負担金合計	51,052	補助金負担金合計	51,005	補助金負担金合計	51,005
											自主財源合計		自主財源合計		自主財源合計	
											自主財源率		自主財源率		自主財源率	

■負担金の状況

単位:千円

	田休夕.协議合夕	団 体 名・協 議 会 名		平成24年度	平成25年度	負担金の支払先				
	四种石品酸去石			(計画)	(予定)	全国	九州	県	その他	
1		負担金額								
2		負担金額								
3		負担金額								
4		負担金額								
5		負担金額								
		合計								

当初予算	53,138
補正及び流用	▲ 16
合 計	53,122

<補正予	算内訳>						単位:千円
第1回		第4回		第	7 回		
第2回		第5回		流	用	(2月)	▲ 16
第3回		第6回					

	務事業 ιード	742415	事 事 事 業名	森林整備	地域活動	支援事	 業	_		担 担 当		農林水産部 林務水産課	
		『 <see></see>				評価				評価	理由		
Α	・この (基)	本シートの結	目的は基本事 果) に結びつぐ		■ 結びつ □ 見直す			当事業により森林施業がすすみ、森林整備が図られ、その結果経営体の体質が強化される。					の結
目的妥当	・な-	関与の妥 ぎ が が? か?	当性 (は負担しなけ	ればならな	■ 妥当で		ある	国の事業であり、公共関与は妥当である。					
性評価		・意図の妥 象や意図を限	当性 限定又は追加っ	すべきか?		見直す	必要がある 必要がある	国、県の領	実施要領に基	づき事	業を行	テっているため適切で	である。
В	·成:	の向上余 果指標の現り せることがで	犬値をあるべき	水準まで向	□ 向上余地はない (十分に成果が出ている) ■ 向上余地がある ■ 影響がある □ 影響がない ■ 他に手段がない □ 他に手段がある □ 統合できない □ 連携			整備の重 施業計画	要性を所有者)への参加を	ドに理解 促進し、	しても	に利用することにより、 あらい、森林経営計画 、施業の集約化を進 の向上余地がある。	町(森林
B 有効性	•補 [」]	助金又は負担	、果への影響 日金の交付を履 うな影響があ	廃止又は休止				現在木材価格が低迷しており、廃止すれば森林所有者のが増えるため、施業面積が減少する。					の負担
評価	•他	こ同様の補助	疣廃合・連携 力金又は負担を けることができれ	金はないか?				できないできる	国、県の実	施要領に	こ基~	場合の事務事業名等 づき事業を行っており 連携は難しい。	
С	·交	費の削減 寸先に働きか ができないか	けて、市の負	担を削減する	■削減分	戻地がな	l,			合が決る	かられ	ており、事業費を削	減する
効率性評価	⑧ 人#	‡費(延べ業	終時間)の て事務事業に		■ 削減余地がない			交付金の支払いに伴う事務が大半であり業務時間削減は難しい。					は難し
D公平性評価	・補 [」] てい	助金又は負担 て不公平で/	負担の適 目金が一部の はないか? \ 平公正になっ	受益者に偏っ	■ 公平・ □ 見直す							木所有者への補助(カを行う事業であり公平	
	(1)1%	マ評価者(誤	長)としての	評価結果		(2)全	体総括(振	長り返り、反省点)					
総括	B 有 C 刻	的妥当性 効性 率性 平性	■ 適切 □ 適切 ■ 適切 ■ 適切	□ 見直す必□ 見直す必□ 見直す必□ 見直す必	な要がある んでいる。一方で、森林所有者から森林整備に関しての同意 た森林もまだ存在しているため、森林整備のみならず森林の 推の観点からも森林保全の重要性の啓発を行い、今後も引)同意が得られず放け 株の公益的機能の	置され 高度発		
		う向性 <pl< th=""><th></th><th>•</th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th></pl<>		•									
(1)			今後の方向		· + 1 U. @ ~ A	4007	(2)廃止3	スは休止す	すべきとした	場合の	理由	a	
	 有效	再設定 統合・連携 性改善(成場 性改善(コス 性改善 推持・継続	[目的妥 [目 [有 艮向上) [有 사削減) [效	当性①②、有 当性①②、有 的妥当性①③ 効性⑥の結果 効性④の結果 率性⑦⑧の結果 平性⑨の結果	が性⑤の糸 ②の結果] &] &] ! ! ! !								
(3)	具体的	な改善計画	<u> </u>	(1)のチェック	万項目に対	し、具体	的にどのよ	うに取り組む	むのか				
① 平し有なな森林	平成24: 23年度。 場合に限 や境界の に係る手 た。よって	下度の取組 はり間伐に対 定されること り確認、間伐 間暇、経費に この事業を済 変性の啓発	み概要及び する国の補助 になったため、 実施の森林所 こついて本事等 舌用しながらる	期待される交金が5ha以上、 集約化に必見 有者の同意取 後で支援するこ 系林整備のみた も引き続き森林	効果 ② 集約化 平 要な所 対り付け ことに ならず) 平成		なり組むべ	き具体的な	内容			

評値	西対象:	年度	平成 23年	年度	事 🤻	多事業 評	<u>価 表</u>	<一般用	>				様式1
Į	事務事コート	*	742113	争:	耒名	状被害防除∙捕獲対	対策事業			担 担	当 課	農林水産語 林務水産語	果
	政策名				る産業のまち							林務グルー	
	施策名				水産業の振	´ •					話番号	45-5111	
基	本事				業経営体へ	の支援		- ~ -	,		線番号	2362	
	~	会計	一般会		** 416 ##		事業	□ 単年月				\	
	予 算	款			産業費		期間	_		(開始年度	ŧ S4	4 年度~)	,
	科	項 目		林業費			III Ibn S.E. A	□期间	収 正複	数年度(~)
	目	コード	74211	林業振	典貨		根拠法令· 条例等	鳥獣の保護	及び狩り	猟の適正化に	こ関する法律	È	
	男連計		74211	ა			X1/14						
	現状把		(1) 車 数	車業の)目的と指標	<do></do>							
-					/ 日刊と7日1条					平成2	3年度実績		
近する	年、野! とともに	生鳥獣に	医害防止策	*物の被 を図る。		発生しているので、				有害鳥獣駆 1,934頭(羽)、11,172千	·円)	
ぼす	有害鳥	- 影捕獲	葉を速やか	に行い、	、被害の軽減	に努めている。(捕獲	と 報償金を支払	う)	土 +>	捕獲隊への	連宮質補助	7(5団体、46	1十円)
						鳥獣は、イノシシ、ニ 一般猟期期間以外			活	平成2	24年度計画	Ī	
捕獲 達成 び福	護隊員に 対率につ 番山地区	こ対して oいては <u>で</u> につい	捕獲指示 は、概ね毎年 いては、イノ	を出し、 年75%和 パシシに。	農林業被害転 全度で推移し よる被害が主	を減のために有害鳥 ている。鳥獣の被害であり、溝辺、横川、	獣の捕獲を行っ の傾向としては	っている。 捕獲 国分、隼人及	動	有害鳥獣駆			
は、	イノシシ	⁄、二ホ)	ンジカ、ニ	ホンザル	/の被害が多く	く見受けられる。				/ / / / / / / / / / / / / / / / / / /	運営費補助	J	
2	活動拮	旨標 (草	事務事業の	の活動量	<u>t</u>)			単位		22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (見込)	25年度 (見込)
ア	有害鳥	獣の捕	i獲指示					件		110	104	110	110
1													
ウ													
3	対象		に、何を 象にしてい	ンスのかご	④ 対象:	指標 ^{(3)対象の}	大きさを 表す指標)	単位		22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (見込)	25年度 (見込)
ア	農林水		外にして	"DV)/13",	被害件数	- 1	区 9 1日1示/			224	230	230	230
,	辰仰小	.)生初			似古什奴			IT*		224	230	230	230
1													
ゥ													
⑤	意图	文 (対	↑象を どうした	<u>-</u> いのか)	⑥ 成果:	指標 (⑤意図の 達成度	を表す指標)	単位		22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (見込)	25年度 (見込)
			る農林水産	産物の被	捕獲見込み	み頭(羽)数	·	頭(羽))	1,520	1,934	1,500	1,500
	害を防	止する								,		ŕ	ŕ
1													
ゥ													
7	結り		んな結果に 結び付け		⑧ 上位		告果の達成度 表す指標)	単位		22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (見込)	25年度 (見込)
ア	経営体	質が強	i化される		経営体が抗	施業を実施した面積		ha		465	374	400	
1													
(2)	事業				単位:千円	(3)事務事業の	環境変化•住	民意見等					
				丰度	24年度	①この事務事業	は、いつ頃、	どのような	2	事務事業を	取り巻く環	境は、開始	诗期又 10.0
	N/ 4π 3	予算額		:算)	(予算)	● きっかけで開始 鳥獣による農林が				は5年前と による農林ス			
予				5,827	7,411	ため昭和44年から			の特別	川措置に関す	る法律が平		
算額		E予算	5	5,269					害防山	上対策が強化	とされた。		
D.C.	予算	合計	12	2,096	7,411								
	国庫神	補助金	:	0		。この事務事業	に対して誰か	らどんな意		この事務事	業に対する	る議会から	出された
	県支出	出金		0		③ この事務事業 見や要望が寄	けられている	か?	4	意見			
決	地方值	責		0		農・林家から被害	防止対策の強	化を要望され	特に	なし。			
決算額	その作			0		ている。							

一般財源

支出合計

11,962

11,962

	事業 一ド	742113	事務事業名	鳥獣被害防	除•捕獲対策事	 業			担 当 部 担 当 課	農林水産		
			<u>v</u>	成23年度	(決算)	平成24	l年度 (当初]予算)		25年度 (見		
		単位:千円	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計	
1	報	栖										
2	給	料										
3		手 当 等										
4	共	済 費										
7 8	<u>賃</u> 報	<u>金</u> 償 費	11,17	'9	11,172	6,500		6,500	6,500		6,500	
9	 旅	費	11,17	4	11,172	41		41	41		41	
10	交					71		71	71		71	
11	需	用費	6	51	61	113		113	113		113	
	消	耗品費	6	50	60	88		88	88		88	
	燃	料 費										
	食	料 費										
		刷製本費										
	光	熱水費										
	修	繕料		1		20		20	20		20	
12	<u>飼</u>	料 費 務 費		1	1	5		5	5		5	
12						10		10	10 10		10	
	広	告 料				10		10	10		10	
	手	数料										
	. 保	険 料										
13	委	託 料	26	53	263	263		263	263		263	
14	使用料	及び賃借料		5	5	5		5	5		5	
15		請負費										
16	原木											
17		才産購入費										
18		購入費	4.6		401	450		450	470		450	
19	負担金 ^を 扶	補助·交付金 助 費	46	51	461	479		479	479		479	
20	<u>坏</u> 貸	<u>助 費</u> 付 金										
22		<u>・ 立</u> 真及び賠償金										
23		利子•割引料										
24	投資及	なび出資金										
25	積	立 金										
26	寄	附 金										
27	公	課費										
28	繰	出 金			11.000	=						
_		計	11,96	52	11,962	7,411		7,411	7,411		7,411	
-		県										
-	地	<u>- 宗</u> 方 債										
財	辺											
源	過											
冰 内 訳	合	併特例債										
訳												
	そ	の他										
	— 舟	₋ 財源	11,96		11,962	7,411		7,411	7,411		7,411	
		計	11,96	52	11,962	7,411		7,411	7,411		7,411	
裤	輔助率	里 県		1 /0 - 1 /0)		1 /9.1 /9					
補	助。	 基 本 額		1/2•1/3 414)		1/2·1/3 398					
\vdash	当者			711	6,827 千円			F 由 田 市 中	I 訳の「その他	この中部		
平成					5,269 千円		一灰 23 五		m/(0)1 で 0)1	ンプログラン		
	第 1			第5回	5,200 111							
23	第2			第6回			参加費等	の事業実施の	のための収入	、説明		
年	第3			第7回								
度	第4			第8回		5,269 第9	9回(3月) 5,26	9千円				
	予算	合 計			12,096 千円							

部農林水産部 事務事業 楘 742113 鳥獣被害防除•捕獲対策事業 事業名 抇 当 コード 課林務水産課 評価 評価理由 2 評価の部 **<SEE>** ① 政策体系との整合性 鳥獣被害防除・捕獲することが農林業経営体への支援となっ ■ 結びついている ・この事務事業の目的は基本事業の意図 ているので結びついている。 □ 見直す必要がある (基本シートの結果)に結びつくか? 目 ② 公共関与の妥当性 畃 ・この事業をなぜ市が行わなければならない ■ 妥当である 被害は市内全域に及ぶため、公共で行うべきである。 妥 のか? □ 見直す必要がある 当 ・税金を投入して、達成する目的か? 性 ③ 対象・意図の妥当性 ■適切である 評 対象は農林水産物であり妥当である。意図については、有害 □ 対象を見直す必要がある 価 ・対象や意図を限定又は追加すべきか? 鳥獣による被害の防止なので妥当である。 □ 意図を見直す必要がある ④ 成果の向上余地 体制の強化は、捕獲隊員の新規加入の促進や、農家自身に □ 向上余地はない ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向 よるわな免許の取得を推進することで、成果向上が見込まれ (十分に成果が出ている) 上させることができるか? 3 ■ 向上余地がある В ⑤ 廃止・休止の成果への影響 有 影響がある 有害鳥獣による農林水産物への被害が拡大する。 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどの 劾 ような影響があるか? □ 影響がない 性 評 ⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (他に手段がある場合の事務事業名等) □ 他に手段がない 価 ・目的を達成するためには、この事務事業以 霧島市イノシシ等鳥獣被害防止電気柵事業 外の手段はないか? ■ 他に手段がある 平成21年度に「霧島市鳥獣被害防止計画書」を ・類似事業との統廃合や連携を図ることによ □ 統合できない □ 連携できない 策定し、防御と捕獲の連携により被害件数の減少は り成果の向上が期待できるか? 繋がる。 ■ 統合できる 事業費の削減余地 捕獲実施にあたっては、銃器、罠ともに銃砲用火薬類や道具 С ・成果を下げずに事業費を削減できない ■削減余地がない 代などの経費がかかり、その一部を報償費で賄っているため、 か?(仕様や工法の適正化、住民の協力な □ 削減余地がある 捕獲報償費の削減は捕獲隊の協力、同意が得られない。 劾 淧 ⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 性 やり方を工夫して事務事業に係る業務時 □ 削減余地がない 支所単位での事務(被害調査、捕獲指示等)の統一化を図 間を削減できないか? 評 り、効率的な事務事業を行う。 ・成果を下げずに職員以外の対応や委託を 価 削減余地がある できないか? 9) 受益機会・費用負担の適正化余地 公 ■公平・公正である 事業の内容が一部の受益者に偏っていて 全ての農林水産物に対応しているため公平・公正である。 性 不公平ではないか? □ 見直す必要がある 評 ・受益者負担が公平公正になっているか? (1)1次評価者(課長)としての評価結果 (2)全体総括(振り返り、反省点) 《有効性改善》 総 A 目的妥当性 適切 □ 見直す必要がある 捕獲隊員の減少を防止するため、新規加入の促進、わな猟免許取得促進の地元 B 有効性 □ 適切 ■ 見直す必要がある 説明会等の普及啓発が必要である。 《効率性改善》 C効率性 □ 適切 見直す必要がある 括 捕獲隊の統合や情報の共有化を行うことにより、事務の効率化をする必要があ D 公平性 ■ 適切 □ 見直す必要がある 今後の方向性<PLAN> (1)評価結果にもとづく今後の方向性 (2)廃止又は休止すべきとした場合の理由 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] □ 廃止 □ 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] □ 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] ■ 事業統合・連携 「有効性⑥の結果] ■ 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] ■ 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] □ 公平性改善 「公平性⑨の結果] □ 現状維持・継続 ⇒(3) 具体的な改善計画は不要 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか (3)具体的な改善計画 ① 平成24年度の取組み概要及び期待される効果 ② 平成25年度に取り組むべき具体的な内容 農政畜産課の霧島市鳥獣被害防止対策協議会の交付金 農政畜産課の霧島市鳥獣被害防止対策協議会の交付金で捕獲器を購入し、電気柵 で捕獲器を購入し、電気柵と連携することにより被害軽減に :連携することにより被害軽減に努める。 怒める 新規加入の促進、わな猟免許取得促進のため、県猟友会によるわな免許講習会(助 捕獲隊員の新規加入の促進、わな猟免許取得促進のた 成制度)など利用し、新規隊員の増加を図る。 め、地元説明会を開催する。 各総合支所と情報を共有することによる事務の効率化を図る。 各総合支所と情報を共有することによる事務の効率化を図 地域ぐるみで防御・捕獲に取り組めるよう、地元説明会等を通じ地域の理解と協力を図 地域ぐるみで防御・捕獲に取り組めるよう、地元説明会等を 隣接市町との情報共有などを行い連携した捕獲活動を実施するための協議を進める。 通じ地域の理解と協力を図る。 隣接市町との情報共有などを行い連携した捕獲活動を実 施するための協議を進める。

<u>at </u>	四对雾	干及	干办	(23年度	争	かり 手	来 評	1四 衣	く一般圧	> _				禄式1				
	事務事		74	42010 事	務 業名 林	業施設維	推持管理事	業			担担		農林水産					
	政策	•	3		る産業のま	ナベノハ						<u>ョ</u> 麻 `ループ						
	施策		1		水産業の振							話番号	45-511	L				
2	基本事		1	,,	魚業経営体^	の支援						線番号	2362					
	_	会計	_	般会計				事業	□ 単年月	度の∂	' }							
	予	款	6	農林才	く産業費				期間 ■ 単年及樑巡(開始年度 日 18 年度~)									
	算 科	項	2	林業費	ŧ			7411-1	□ 期間[限定複	复数年度(~)				
	科目	目	1	林業絲	総務費			根拠法令•										
		コード	7	42010				条例等										
	関連計	一画																
	現状排		(1)	車数車業/	の目的と指標	- / D	00>											
_						R \ \ \	0/	_			平成,	23年度実績	E					
市のい適	民に森林 維持管理 とている 宜施設の	林を利用 理を指定 。 の修繕を	用した 定管理 を行い	理者に委託す い施設の維持	る。ほかの施 手管理を行う。	設につい	ては各自治	会に無償で管	石岳森林公園	主	林業施設の)維持管理(円、保険料	光熱水費33	3千円、修				
							E設、多目的研 林構事業機械	***	平成	24年度計画	Ī							
				・個かん 悩み 食の交流館		長云 旭 以	、併及门丁乡	長去にクグー、	小件 学 未 1 成 1 / 1	動			-					
	777	(-11)	, ,,,,,,								林業施設の)維持管理						
2	活動	指標(事務	事業の活動	量)				単位		22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (見込)	25年度 (見込)				
ア	林業旅	1設維持	寺管理	豊 (委託料)					千円		8,255		8,491	8,491				
イ			<i>II</i>	(修繕料	ļ)				千円		209	905	600	600				
ゥ			"	(保険料	})				千円		211	153	162	162				
3	対:		能、何 ナ象に	を しているのか	4) 対象	指標	(③対象の 表	大きさを 長す指標)	単位		22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (見込)	25年度 (見込)				
アイ	林業旅	记設			林業施設	数			箇所		10	10	10	10				
ゥ																		
(5	意	z (Ż	対象を と	: 'うしたいのか	(6) 成果	:指標	(⑤意図の 達成度	を表す指標)	単位		22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (見込)	25年度 (見込)				
ア	施設の	適正が	うし	滑な管理	施設に関	する苦情	件数		件		1	0	0	0				
1																		
ゥ																		
T) 結:	果 ^{(と}		結果に ド付けるのか)	8 上位	成果指		:果の達成度 表す指標)	単位		22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (見込)	25年度 (見込)				
ア	体質が	ぶ強化さ	れる		経営体が	施業を実	施した面積		ha		465	374	400					
1																		
(2)事業	費			── 単位∶千円	(3)事	務事業の	環境変化∙住	民意見等				<u> </u>	<u> </u>				
				23年度	24年度	$_{\odot}$ $=\sigma$	D事務事業	は、いつ頃、 冶されたのか	どのような		事務事業をは5年前と							
予	当 初	予 算	額	(決 算) 9,848	(予算) 9,275	林業施	設について	は市の所有で	あり、施設に		の維持管理は							
了算額	補正	及び流	用	▲ 42			で行う。	台熱水費、修繕	f作及UNA映									
谼	予算	自合	計	9,806	9,275													
	国庫	補助	金	0		3 = a)事務事業	に対して誰か せられている	いらどんな意		この事務事	業に対する	る議会から	出された				
عدر		5 出		0				せられている	るか?		意見							
決算 地方債 0 額 その他 0				ν,		特にない												
額	-	の g 財	他源	9,640														
	支出		計	9,640	1													
	^ ⊔		μТ	3,040	Ī	1				1								

	8事業	742010	事務 事業名	林業施設維	持管理事業				担当部	
	ード	7 12010							担当課	林務水産課
		w.u		成23年度			4年度 (当初			25年度(見込)
	±p	単位:千円	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助 合計
1	報給	酬								
2		<u>料</u> . 手 当 等								
3		<u>. 于 ョ 寺</u> . 済 費								
7	 賃	<u></u> 海 및 金								
8	 報									
9	 旅	^良 費								
10	交									
11	<u></u> 需		93	R	938	622		622	622	622
l ''		耗品費	30	5	330	022		022	022	022
	燃	料費								
	食	料費								
		刷製本費								
		熱水費	3.	3	33	22		22	22	22
	修	善繕料	90		905	600		600	600	600
	שיו	ጥ⊒ ୩୩	30		300	000		000	000	000
12	役	務 費	18	6	186	162		162	162	162
-		信運搬費	10		100	100		102	100	132
	広	告 料								
	手	数料	3	3	33					
	保	険 料	15		153	162		162	162	162
13	委	託 料	8,17		8,175	8,491		8,491	8,491	8,491
14		料及び賃借料								
15	工事	請負費								
16	原	材 料 費								
17	公有	財産購入費								
18	備品	, 購入費	34	1	341					
19	負担金	:補助•交付金								
20	扶	助費								
21	貸	付 金								
22	補償補	填及び賠償金								
23	償還金	:利子•割引料								
24		及び出資金								
25	積	立 金								
26	寄	附 金								
27	公	課費								
28	繰	出 金		_						
		計	9,64	0	9,640	9,275		9,275	9,275	9,275
		国								
	طر ب	県 生 佳								
	地 辺	方 <u>債</u> 地 債								
財源	過									
源内		併特例債								
訳		개 1寸 1개 頂								
	そ	の他								
			9,64	0	9,640	9,275		9,275	9,275	9,275
	,	計	9,64		9,640	9,275		9,275	9,275	9,275
	h :	国	3,01		0,010	0,210		0,210	0,210	0,210
 	甫助率	県								
補	助	基本額								
_		初 予 算			9,848 千円		平成 23 年	E度 財酒内	I 訳の「その他	リの内訳
平成		<u>カーデー 弄</u> 及び流用			▲ 42 千円	\dashv	1 /20 20 2	(WINNEY	H. (-> C -> E	33 -41 3H/
	第1			第5回						
23	第2			第6回			参加費等	の事業実施の	のための収え	人説明
年	第3			第7回			シル見可	A-A-///		- per d
度	第4			流用		▲ 42				
		算合計		.5.0 713	9,806 千円	-				
					-,	──────────				

部農林水産部 事務事業 楘 742010 林業施設維持管理事業 事業名 抇 当 コード 課 林務水産課 評価 評価理由 2 評価の部 **<SEE>** ① 政策体系との整合性 林業施設の維持管理をすることは、林産物加工の促進、または ■ 結びついている ・この事務事業の目的は基本事業の意図 経営の強化に繋がっているので意図に結びつくといえる。 □ 見直す必要がある (基本シートの結果)に結びつくか? 目 ② 公共関与の妥当性 的 ・この事業をなぜ市が行わなければならない ■ 妥当である 市所有の施設であり、市が管理することは妥当である。 妥 のか? □ 見直す必要がある 当 ・税金を投入して、達成する目的か? 性 ③ 対象・意図の妥当性 ■適切である 評 □ 対象を見直す必要がある 現在、林業施設を適正かつ円滑に管理している。 価 ・対象や意図を限定又は追加すべきか? □ 意図を見直す必要がある ④ 成果の向上余地 ■ 向上余地はない 施設を指定管理委託することでサービスの向上につながってい ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向 (十分に成果が出ている) 上させることができるか? □ 向上余地がある В ⑤ 廃止・休止の成果への影響 有 施設に手が入らなくなることで、老朽化が進み、管理が難しくな 影響がある ・事務事業を廃止又は休止した場合にどの 劾 ることが予想される。 ような影響があるか? □ 影響がない 性 評 (他に手段がある場合の事務事業名等) ⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ■ 他に手段がない 価 ・目的を達成するためには、この事務事業以 外の手段はないか? □ 他に手段がある ・類似事業との統廃合や連携を図ることによ □ 統合できない □ 連携できない り成果の向上が期待できるか? □ 連携できる □ 統合できる 事業費の削減余地 С ・成果を下げずに事業費を削減できない 既に必要最小限の経費で管理を行っており、これ以上の経費 ■削減余地がない 削減は管理に支障がでることも考えられる。 か?(仕様や工法の適正化、住民の協力な □ 削減余地がある 劾 淧 ⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 性 やり方を工夫して事務事業に係る業務時 ■ 削減余地がない 施設維持管理のための予算執行事務が主であり、これ以上の 間を削減できないか? 評 削減の余地はない。 ・成果を下げずに職員以外の対応や委託を 価 □ 削減余地がある できないか? 9) 受益機会・費用負担の適正化余地 施設については市民が使える環境にあり、そこに対し維持管理 公 ■ 公平・公正である することについては不公平は生じない。また、施設利用者から 事業の内容が一部の受益者に偏っていて 性 は使用料を徴収するため受益者負担についても公平・公正で 不公平ではないか? □ 見直す必要がある 評 あるといえる。 ・受益者負担が公平公正になっているか? (1)1次評価者(課長)としての評価結果 (2)全体総括(振り返り、反省点) 総 A 目的妥当性 ■ 適切 □ 見直す必要がある B 有効性 適切 □ 見直す必要がある 林業施設の維持管理を行うことで、林産物加工の促進につながり、また、一部の施 設を指定管理委託することで、経費の抑制、サービスの向上が図られている。 □ 見直す必要がある C効率性 ■ 適切 括 D 公平性 ■ 適切 □ 見直す必要がある 今後の方向性<PLAN> (1)評価結果にもとづく今後の方向性 (2)廃止又は休止すべきとした場合の理由 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] □ 廃止 □ 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] □ 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] [有効性⑥の結果] □ 事業統合·連携 □ 有効性改善(成果向上) 「有効性④の結果] □ 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] 「公平性⑨の結果] □ 公平性改善 ■現状維持・継続 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか (3)具体的な改善計画 ① 平成24年度の取組み概要及び期待される効果 ② 平成25年度に取り組むべき具体的な内容

評価シート <一般用>

支 出 合 計

5,707

 事務事業 コード
 742114
 事務 事業名
 本業就労改善推進活動支援事業
 担当部 農林水産部 担当課 林務水産課

■運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位:千円

_	団 体名 協議会名							沙	3	会員数	平成23年 (決算)	度	平成24年 (予定		平成25年度 (予定)	
	1 A F	- - -	·n + ++ /	⁄п <u> </u>							補助金	1,224	補助金	2,117	補助金	2,118
	始月	支果 台	8森林	組合							自主財源	2,450	自主財源	4,232	自主財源	4,230
1	文	付象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計	3,674	合計	6,349	合計	6,348
	#	也区		0				0	0	0	自主財源率	67%	自主財源率	67%	自主財源率	67%
	-11-tu	△ 白 2	\$林組 [*]	<u> </u>							補助金	3,332	補助金	3,471	補助金	3,471
2	46%	口尺木	木作小山								自主財源	13,684	自主財源	6,943	自主財源	6,943
_	文	付象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計	17,016	合計	10,414	合計	10,414
	坩	也区				0	0				自主財源率	80%	自主財源率	67%	自主財源率	67%
	h≙ É	急而单	8森林	組合							補助金	1,151	補助金	1,667	補助金	1,666
3	211	ХСТ	በ• <i>ት</i> ሉ ግጥ /	ит г							自主財源	2,900	自主財源	3,332	自主財源	3,332
3		八条				隼人	福山	合計	4,051	合計	4,999	合計	4,998			
	均	也区			0						自主財源率	72%	自主財源率	67%	自主財源率	67%
											補助金		補助金		補助金	
4						ı					自主財源		自主財源		自主財源	
· I		付象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
	力	也区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
											補助金		補助金		補助金	
5						I					自主財源		自主財源		自主財源	
		付象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
	Þ	也区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
											補助金		補助金		補助金	
6										1	自主財源		自主財源		自主財源	
		付象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
	F	地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
											補助金		補助金		補助金	
7			^ -		\#\\T	14th 111	44.1001	高 白	#- 1	±=.1.	自主財源		自主財源		自主財源	
		付象 也区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
	1										自主財源率		自主財源率		自主財源率	
											補助金		補助金		補助金	
8			Λ±:	団八)#\T	4#: III	바시크	電白	<i>t</i> ±: 1	垣山	自主財源		自主財源		自主財源	
		付象 也区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
	1	e C			<u> </u>]			1	自主財源率補助金		自主財源率 補助金		自主財源率補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
9	.1.	-L.F-	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
		付象 也区	土巾	四万	併起	1英ノロ	1人图	粉面	半八	1田川	自主財源率		自主財源率		自主財源率	
					<u> </u>		<u> </u>			1	補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
10	4.	+ 色	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
		付象 也区	7-111	当力	144.72	וילאנו	- [X-[XX]	A94 (LLI)	+-/\	IMPI	自主財源率		自主財源率		自主財源率	
	<u>=</u>							1	補助金負担金合計	5,707	補助金負担金合計	7,255	補助金負担金合計	7,255		
п								自主財源合計	19,034	自主財源合計	14,507	自主財源合計	14,505			
												•				
								自主財源率	77%	自主財源率	67%	自主財源率	67%			

■負担金の状況

単位:千円

			平成23年度	平成24年度	平成25年度		負担全 (の支払先	14. 111
	団 体 名•協議会名		(決算)	(計画)	(予定)	全国	九州	県	その他
1		負担金額							
2		負担金額							
3		負担金額							
4		負担金額							
5		負担金額							
		合計							

当初予算	6,994
補正予算	
合 計	6,994

<補正予	算内訳>				単位:千円
第1回		第4回		第7回	
第2回		第5回		第8回	
第3回		第6回			

	務事業 1一ド	742114	事務 事業名	林業就労	労改善推進活動支援事業				<u>担 当</u> 担 当		<u>農杯水産部</u> 林務水産課	
2	評価の	D部 <see></see>			評価					理由		
Α	① I	女策体系との整 この事務事業の 基本シートの結り	全合性 目的は基本事		■ 結びつ□ 見直す	oいている 「必要がある		者の就労条件 れるため結びつ			られれば、林業経営 <i>の</i>)体質
目的妥当	• ;	☆共関与の妥当 なぜ市が補助又 >か?		ればならない	■ 妥当で	である 「必要がある	の改善が	が厳しい中、タ 必要であり、林 があるため妥当	*業振り	単を行う	には就労条件(身分)必要、施行面積の増	保障) 曽加を
性評価		対象・意図の妥 対象や意図を限		ナベきか?		見直す必要がある		者を対象として として適切であ		こめ、そ	の就労条件を改善す	ナるこ
	•)	 	値をあるべき	水準まで向	■ 向上余	・見直す必要がある		補助制度であ 大果を向上させ			業の改善等はできなない。	:いた
B 有効性	<u>(5)</u>	を止・休止の成 補助金又は負担 た場合にどのよ	果への影響 金の交付を原	を止又は休止	□ 向上余 ■ 影響か □ 影響か			認定事業体の負担が増すため、社会保障等の費用が増加し 経営を圧迫する。				
評価	•	頁似事業との紡 他に同様の補助 統廃合や連携す	金又は負担金	をはないか?	他に手段がない他に手段がある 統合できない □ 連携できない			(他に言	(他に手段がある場合の事務事業名等)			
C 効	(), ()	事業費の削減分 交付先に働きから とができないから	けて、市の負 ? ?		■削減余	合できる □ 連携 <地がない <地がある		手基金)の事業	で負担	割合1	/3が決定している。	
率性評価)	、件費(延べ業 やり方を工夫して 引を削減できない	(事務事業にか?	係る業務時		≷地がない	補助金交付事務であるため、削減する部分がない。 上位組織補助制度であるため、受益機会は公平である。					
D公平性評価	·,	を益機会・費用 補助金又は負担 いて不公平では 受益者負担が公	金が一部の5 ないか?	受益者に偏っ		公正である 「必要がある						
総		<mark>1次評価者(課</mark> 目的妥当性	長)としての ■ 適切	評価結果 □ 見直す必	ル亜がちて	(2)全体総括(振	り返り、反	省点)				
括	B C	有効性 効率性 公平性	■ 適切 ■ 適切 ■ 適切	□ 見直す必□ 見直す必	必要がある 必要がある 必要がある	適切な事業である	ため、現状	維持とする。				
		D方向性 <pl <="" th=""><th></th><th>. Let</th><th><u> </u></th><th></th><th></th><th>L & 3-11 t 1</th><th></th><th></th><th></th><th></th></pl>		. Let	<u> </u>			L & 3-11 t 1				
(1)	□	_	[目的妥 [目的妥 [目 [有 [向上) [有 卜削減)[効	当性①②、有 当性①②、有 的妥当性①③ 効性⑥の結果 効性④の結果	効性⑤の緒 ②の結果] ³ ⁴] ⁴] ⁵ ⁸	吉果]	又は休止す	<mark>たべきとした*</mark>	場合の)理由		
		<mark>的な改善計画</mark> 24年度の取組。				<mark>し、具体的にどのよ</mark>) 平成25年度にE			为容			

				3 390 3 PIT HI		1 1 1 1 1 2 2 2 2 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		
事務事		742	₆₁₃ 事務	海面環境保全事業				農林水産部
Ī	ド	742	事業名	冲 四			担 当 課	林務水産課
政策:	名	3	活力ある産業	美のまちづくり			グループ	水産グループ
施策	名	1	農•林•水産	業の振興			電話番号	45-5111
基本事	業名	2	生産基盤の	整備			内線番号	2371
	会計	一角	2会計			□ 単年度のみ		
予	款	6	農林水産業	費	事業 期間	■ 単年度繰返 (開始:	年度 S 59	年度~)
予 算 科 目	項	3	水産業費		MILEI	□ 期間限定複数年度	(~	·)
目	目	2	水産業振興	費	根拠法令・	霧島市水産業事業補助金交	: 仕 西 郷	
	コード	742	613		条例等	務面印尔庄未事未開功並久	门女們	
補助: 負担金			団体の運営支	援 ■団体の活動支	₹援 □	イベント等の補助	協議会等負	担金

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手 段 (事務事業の概要)

毎年海の日の前後に桜島の火山活動に伴い堆積した軽石が梅雨,台風等の大雨の際に大量に海面に流失し,又河川からの流木等が海面に浮遊し福山港に漂着し漁船の航行を阻害するので,重機等を使って除去する処理事業に係る費用の一部を助成する。

補	<mark>助金・負担金の交付先</mark> 福山町	丁漁業協同組合	補助	金の対象経費	福山町漁業協同組合の活動に要する経費					
2) 活動指標 (事務事業の活動量)			単位	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (見込)	25年度 (見込)		
ア	海面環境保全事業			田	2	2	2	2		
1										
ゥ										
3) 対 象 (誰、何を 対象にしているのか)	④ 対象指標(③対象の大きさを表す指標		単位	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (見込)	25年度 (見込)		
ア	海面漁業者	清掃作業の参加者		人	15	20	20	20		
1										
5) 意 図 (対象を どうしたいのか)	⑥ 成果指標 (⑤意図の 達成度を表す指	(標)	単位	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (見込)	25年度 (見込)		
ト	漁船被害の軽減	安全に安心して漁場を運行する漁船		船	54	60	60	60		
イ										
ゥ										
7) 結 果 (どんな結果に 結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達) を表す指標		単位	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (見込)	25年度 (見込)		
ア	効率的な生産を行う基盤が整う	放流した稚魚の数		万尾	37.5	41.4	40.7			
1										

(2)事業費 23年度 24年度 (決算) (予算) 当初予算額 136 136 予 算 補正予算額 額 予算合計 136 136

	国庫補助金	
	県支出金	
決算額	地方債	
解額	その他	
	一般財源	136
	支出合計	136

単位:千円 (3)事務事業の環境変化・住民意見等

この事務事業は、いつ頃、どのような きっかけで開始されたのか?

県の桜島軽石等除去事業で実施されていた が、打ち切り予算となった。しかしながら、漁業 関係者の強い要望により単独補助とした。

変化なし。

特になし。

この事務事業に対して誰からどんな意 見や要望が寄せられているか?

台風時期等の浮遊物除去により被害解消及 び海岸周辺がきれいになった(漁業関係者、周 辺住民)。

この事務事業に対する議会から出された 意見

事務事業を取り巻く環境は、開始時期又

は5年前と比べてどう変わったのか?

 事務事業 コード
 742613
 事務 事業名
 海面環境保全事業
 担当部
 農林水産部

 担当課
 林務水産課

■運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位: 千円

	団 体名・協議会名										平成23年 (決算)	度	平成24年 (予定)		平成25年度 (予定)		
											補助金	136	補助金	136	補助金	136	
	福山	」町漁	魚業協	司組合							自主財源	221	自主財源	221	自主財源	221	
1	交	十象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計	357	合計	357	合計	357	
		区								0	自主財源率	62%	自主財源率	62%	自主財源率	62%	
										-	補助金		補助金		補助金		
											自主財源		自主財源		自主財源		
2	女	象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計		
		区									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
				I.			1	I.			補助金		補助金		補助金		
											自主財源		自主財源		自主財源		
3	太	象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計		
		区									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
											補助金		補助金		補助金		
											自主財源		自主財源		自主財源		
4	太	象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計		
		区									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
										1	補助金		補助金		補助金		
_											自主財源		自主財源		自主財源		
5	太	象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計		
		区									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
						1				1	補助金		補助金		補助金		
											自主財源		自主財源		自主財源		
6	交	象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計		
		区									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
						1				1	補助金		補助金		補助金		
_											自主財源		自主財源		自主財源		
7	交	象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計		
	坩	区									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
	·										補助金		補助金		補助金		
_											自主財源		自主財源		自主財源		
8	交	象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計		
		过区									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
	·										補助金		補助金		補助金		
,											自主財源		自主財源		自主財源	-	
9	交	 象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計		
	抴	区									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
											補助金		補助金		補助金		
10											自主財源		自主財源		自主財源		
10	交	象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計		
	抴	区									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
				計	-						補助金負担金合計	136	補助金負担金合計	136	補助金負担金合計	136	
							自主財源合計	221	自主財源合計	221	自主財源合計	221					
											自主財源率	62%	自主財源率	62%	自主財源率	62%	

■負担金の状況

単位:千円

	団 体名・協議会名		平成23年度	平成24年度	平成25年度		負担金(の支払先	.1.7.
	凹 体石 励 硪 云 石	冲 右 · 励 誐 云 右			(予定)	全国	九州	県	その他
1		負担金額							
2		負担金額							
3		負担金額							
4		負担金額							
5		負担金額							
		合計							

当初予算	136
補正予算	
合 計	136

<補正予	算内訳>				単位:千円	
第1回		第4回		第7回		
第2回		第5回		第8回		
第3回		第6回				

	务事 ℷード	742613	事 務 事業名	海面環境	保全事業					<u>担</u> 当 担 当			<u>林水産</u> 務水産	
_		の部 <see></see>				評価					5理由		193+1+12±1	HPIT
		対策体系との整				птіш								
Α	•,	この事務事業の 基本シートの結果	目的は基本事 果) に結びつく		■ 結びつ□ 見直す		_		舶の航海の確 政策体系に約				者の安ク	定経営を支援
目	2 4	公共関与の妥当	当性											
的妥当		なぜ市が補助又)か?	は負担しなけ	ればならない	■ 妥当で □ 見直す		ある		興及び環境係ることは妥当~		つ取り糸	組み	を支援す	することは,行政
性	③ 🕏	対象・意図の妥	·当性		■適切で	ある								
評価		対象や意図を限	ウマル 泊加。	トッキムの	□ 対象を見直す必要がある			対象を漁	対象を漁業者とし,意図を安全航行の確保としたことから適切で					ことから適切で
Щ	•	対象で息凶を眩	足又は迫加り	1,75%;	 □ 意図を	見直す	必要がある	<i>め</i> か。						
	④ 瓦	成果の向上余地	也											
		成果指標の現状 上させることができ		水準まで向	□ 向上弁 (十分 □ 向上弁	に成果が	が出ている)	事業目的	以上の成果向	句上余均	也はない	い。		
В	A		田、本史郷			マ型かめ	ବ							
有 効 性	• 7	発止・休止の成 補助金又は負担 た場合にどのよ	金の交付を属	を止又は休止	■ 影響がある 安全な航海が確保					:なくなる	5.			
評	6 *	質似事業との紡	· 連携	の可能性	■他に手	F.T. J. \$ + >	1.5		(他に	手段が	ある場	島合の	り事務事	業名等)
価		他に同様の補助 統廃合や連携す			□ 他に手 □ 統・	段があ	る :い □ 連携							
	⑦ 引	事業費の削減 分	永地											
C 効	J. J	交付先に働きかり とができないか?	?		■ 削減余地がない □ 削減余地がある					要経費	であり,	,削海	咸は難し	<i>ر</i> ر°
率	® /	人件費(延べ業	務時間)の	削減余地	■ *u >+ ∧	<u> </u>								
性評価		やり方を工夫して 引を削減できない		系る業務時	■ 削減余地がない 予算: □ 削減余地がある			予算執行	等の事務のみ	みである	ことか	ら削	減余地	はない。
D 公	9 3	受益機会•費用	負担の適正	化余地										
平 性 評	て	補助金又は負担 いて不公平では 受益者負担が公	はないか?		□ 見直す				舶の航海の確から公平・公			周辺	l漁業者:	全てが受益者
価		1次評価者(課				(2)全	体総括(振	り返り、反	省点)					
総		目的妥当性	■適切	□ 見直す必	(2)全体総括(振り返り、反省点) 必要がある									
	В	有効性	■ 適切	□ 見直す必	必要がある	\								
括	С	: 効率性	■ 適切	□ 見直す必	必要がある	適切	な事業であり	か現状を維持する。						
'-	D	公平性	■ 適切	□ 見直す必	必要がある									
3 1		の方向性 <pla< th=""><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th></pla<>												
		結果にもとづく		性	*		(2)廃止3	スは休止す	トべきとした	場合の	理由	1		
		€止	[目的妥	·当性①②、有	効性⑥の約	吉果]								
	□ 付	木止		当性①②、有		吉果]								
		目的再設定	= :	的妥当性①③										
		事業統合・連携	=	効性⑤の結果	=									
		可効性改善(成果 効率性改善(コス)			=									
		ルギュロストル ルマ性改善		平性のの結果										
	_	見状維持・継続	=		=									
	<u>-</u>	+												
		的な改善計画		(1)のチェック										
1	平成2	24年度の取組	み概要及び	期待される交	力果 ②	平成	25年度に耳	対組むべ	き具体的な	内容				

1					
(2)事業費		単	位:千円	(3)
		手度 :算)		24年度 (予算)	1
予	当初予算額	270		270	福イカ
算額	補正予算額				入し
頟	予算合計	270		270	かり

	国庫補助金	
	県支出金	
決算額	地方債	
額	その他	
	一般財源	270
	支出合計	270

(3)事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業は、いつ頃、どのような きっかけで開始されたのか?

② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか? 水質の低下、水産資源の枯渇や燃油等の高騰によ

り漁業を取り巻く状況は厳しくなっている。

福山港沖はイカ等の産卵場所が少ないため イカの産卵魚礁を形成するためにイカ柴を投 入し、イカの増産育成に努めたいとの地元漁協 からの要望により平成17年から開始した。浜之 市沖も錦江漁協青壮年部の自主事業でしてい たが23年度より設置事業を開始した。

③ この事務事業に対して誰からどんな意 見や要望が寄せられているか?

特になし。

④ この事務事業に対する議会から出された意見

特になし。

 事務事業
コード
 742610
 事務
事業名
 漁業資源繁殖施設整備補助事業
 担当部
担当課
 機林水産部

■運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位:千円

### ### ### ### ### ### ### ### ### ##			寸	体名	3•協	議会	名				平成23年 (決算)	度	平成24年 (予定		平成25年 (予定)	
		行いの一	お坐か	日紀へ								190				190
対象 全市 国分 流辺 横川 牧岡 霧島 牛人 福山 合計 400 名称 400		福川町	洪耒 協	可租合							自主財源	210	自主財源	210	自主財源	210
	'	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計	400	合計	400	合計	400
		地区								0	自主財源率	53%	自主財源率	53%	自主財源率	53%
Biblikg		给汗洛	类协同:	织ム							補助金	80	補助金	80	補助金	80
対象 全市 日分 構辺 模別 牧園 霧島 隼人 福川 合計 163	,	- 11	未协门	1000							自主財源	83	自主財源	83	自主財源	83
A		対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計	163	合計	163	合計	163
1		地区							0		自主財源率	51%	自主財源率	51%	自主財源率	51%
											補助金		補助金		補助金	
対象 全市 国分 横辺 図 図 図 図 図 図 図 図 図	3										自主財源		自主財源		自主財源	
A	3			国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
1		地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
4 対象 全市 国分 溝辺 横川 牧園 霧島 隼人 福山 自主財源率 自主財源 自主財源率 自主財源率 自主財源率 自主財源率 自主財源率 自主財源率 自主財源率 自主財源率 自主財源本 自主財源 自主財源 自主財源 自工財源 自主財源 自主財源 自主財源 自主財源 自主財源 自主財源 自主財源 自 主財源 自主財源 自ュ 自ュ 自ュ 自ュ 自ュ 自ュ 自ュ 自ュ 自ュ 自											補助金		補助金		補助金	
対象 全市 国分 深辺 横川 牧園 響島 隼人 福山 合計 合計 合計 合計 合計 合計 信主財源率 自主財源率 自主財源率 自主財源率 自主財源 日主財源 日土財源 日土財源	4										自主財源		自主財源		自主財源	
A	4			国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
1		地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
											補助金		補助金		補助金	
対象 全市 国分 溝辺 横川 牧園 霧島 隼人 福山 合計 合計 合計 合計 合計 自主財源率 自主財源本 自主財源 由 由財源 和財源 和財	5										自主財源		自主財源		自主財源	
A	3		全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
B 主財源		地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
											補助金		·		補助金	
大學 全市 国分 溝辺 横川 牧園 霧島 隼人 福山 合計 自主財源率 自主財源率 自主財源 自主財源 自主財源 自主財源 自主財源率 由主財源率 自主財源率 自主財源率 自主財源率 自主財源率 自主財源率 自主財源率 自主財源率 由主財源率 自主財源率 自主財源本 自主財源 自	6										自主財源		自主財源		自主財源	
A	ľ			国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
Part		地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
7 対象 全市 国分 溝辺 横川 牧園 霧島 隼人 福山 白計 自主財源率 自主財源率 自主財源率 自主財源率 自主財源率 自主財源 自主財源 自主財源 自主財源 自主財源 自主財源 自主財源 自主財源											補助金		補助金		補助金	
8 全市 国分 溝辺 横川 牧園 霧島 隼人 福山 白計 自主財源率 自主財源率 自主財源率 自主財源 自主財源 自主財源 自主財源 自主財源 自主財源 自主財源 自主財源	7			1	1											
A	'			国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
B B B B B B B B B B		地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
8 対象 全市 国分 溝辺 横川 牧園 霧島 隼人 福山 白計 自主財源率 自主財源率 自主財源率 自主財源率 9 本市 国分 溝辺 横川 牧園 霧島 隼人 福山 白計 自主財源 自主財源 自主財源 自主財源 10 本市 国分 溝辺 横川 牧園 霧島 隼人 福山 白計											補助金		補助金		補助金	
9 全市 国分 溝辺 横川 牧園 霧島 隼人 福山 自主財源率 自主財源合計 270 補助金負担金合計 270 補助金負担金合計 293 自主財源合計 293 自主財源 293 自主財源 293 293 293 293 293 293 293 293 293 293 293 293 <	8			1	1											
10 本市 本市 <t< th=""><td></td><td></td><td></td><td>国分</td><td>溝辺</td><td>横川</td><td>牧園</td><td>霧島</td><td>隼人</td><td>福山</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></t<>				国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山						
10 文章 全市 国分 溝辺 横川 牧園 霧島 隼人 福山 合計 合計 合計 合計 合計 自主財源率 自主財源率 自主財源率 自主財源率 自主財源率 10 全市 国分 溝辺 横川 牧園 霧島 隼人 福山 合計 自主財源率 自主財源率 自主財源率 自主財源率 水象 全市 国分 溝辺 横川 牧園 霧島 隼人 福山 合計 自主財源 自主財源 自主財源 自主財源 自主財源率 10 大倉計 自主財源 自主財源 自主財源 自主財源 自主財源 自主財源率 10 大倉計 自主財源 自主財源 自主財源 自主財源 自主財源 自主財源 自主財源 自主財源		地区														
10 対象 全市 国分 溝辺 横川 牧園 霧島 隼人 福山 自主財源率 自主財源率 自主財源率 自主財源率 自主財源率 自主財源 自主財源 自主財源 自主財源 自主財源 自主財源 自主財源 自主財源																
10 対象 全市 国分 溝辺 横川 牧園 霧島 隼人 福山 合計 自主財源率 自主財源率 自主財源率 自主財源率 自主財源率 自主財源 自主財源 自主財源 自主財源 自主財源 自主財源 自主財源 自主財源	9															
10 補助金 補助金 補助金 補助金 自主財源 自主財源率 自主財源率 自主財源率 自主財源率 自主財源本 自主財源本 自主財源本 1 自主財源本 自主財源本 自主財源本 自主財源本 1 1 日主財源本 1 日主財源本 1 1 日主財源本 1 日主財源本 1 日主財源本 1 日主財源本 日本財源本 <				国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山						
10 対象 全市 国分 溝辺 横川 牧園 霧島 隼人 福山 合計 合計 合計 自主財源率 自主財源 自主財源 自主財源率 10 対象 全市 国分 溝辺 横川 牧園 霧島 隼人 福山 合計 自主財源率 自主財源率 10 自主財源本 10 10 補助金負担金合計 270 補助金負担金合計 270 10 神助金負担金合計 270 神助金負担金合計 270 10 自主財源合計 293 自主財源合計 293 10 自主財源合計 293 自主財源合計 293		地区														
10 対象 全市 国分 溝辺 横川 牧園 霧島 隼人 福山 白計 自主財源率 合計 自主財源率 10 計 自主財源率 自主財源率 10 計 自主財源率 自主財源率 11 神助金負担金合計 270 神助金負担金合計 270 神助金負担金合計 270 12 神助金負担金合計 293 自主財源合計 293 自主財源合計 293																
対象 全市 国分 構刀 校園 霧島 隼人 福山 合計 合計 合計 地区 自主財源率 自主財源率 自主財源率 自主財源率 自主財源率 計 補助金負担金合計 270 補助金負担金合計 270 補助金負担金合計 270 自主財源合計 293 自主財源合計 293 自主財源合計 293 自主財源合計	10					1.00	41.			1						
計 補助金負担金合計 270 補助金負担金合計 270 補助金負担金合計 270 自主財源合計 293 自主財源合計 293 自主財源合計				国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山						
自主財源合計 293 自主財源合計 293 自主財源合計 293 自主財源合計 293	igspace	地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
				計							補助金負担金合計	270	補助金負担金合計	270	補助金負担金合計	270
											自主財源合計	293	自主財源合計	293	自主財源合計	293
日土財源率 52% 日土財源率 52% 日土財源率 52%											自主財源率	52%	自主財源率	52%	自主財源率	52%

■負担金の状況

単位:千円

	(JE W 07 07 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00					÷ □ · 1 1			
	団 体 名・協 議 会 名		平成23年度 (決算)	平成24年度 (計画)	平成25年度 (予定)			の支払先	
	四个石。励我去石	四件石 咖啡五石				全国	九州	県	その他
1		負担金額							
2		負担金額							
3		負担金額							
4		負担金額							
5		負担金額							
		合計							

	~ , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
当初予算	270
補正予算	
合 計	270

<補正予算内訳>		単位:千円
第1回	第4回	第7回
第2回	第5回	第8回
第3回	第6回	

	務事業 1一ド	742610	事務 事業名	漁業資源	繁殖施設	整備補具	助事業					
		部 <see></see>				評価			評価理由			
		策体系との整						とよけっか				
Α		の事務事業の			■結びつ				り投入を行うことによって漁業者の経営安定が図られる 策体系に結びついている。			
		本シートの結り 共関与の妥 当		\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	□ 見直す	必要から	<u> </u>					
的		ベステの女 = ぜ市が補助又		·わルギナaこ ナaし、	■ 妥当で	ある		イカ柴の	の投入事業により漁獲高を上げ漁業者の経営安定を			
妥当	のた		パム貝1旦いより	4014/4D/40.	□ 見直す	必要が	ある	図ることが	ができるために妥当である。			
性	③ 対	象・意図の妥	·当性		■ 適切て	ある						
評価		各水类 圆之阳	(h » +	□ 対象を	見直す』	必要がある	対象は流	漁協、意図は漁業者の経営安定であって適切である。			
ΙЩ	•刈	象や意図を限	(足又は追加)	ハさか?	 □ 意図を	見直す』	必要がある					
	④ 成:	果の向上余均	也		_ , ,							
	• н	果指標の現状	・ 値をあろべき	水準まで向	■ 向上弁 (十分		ハ 「出ている)	事業目的	的以上の成果向上余地はない。			
В		くせることができ させることができ		711-x CM	□ 向上弁			1.761				
	⑤ 麔	止・休止の成	申への影響	<u> </u>		(-0.00 0)						
有効		助金又は負担			■影響が	i ある		湾内の資	資源の維持培養が難しくなり、また漁獲高が減少する。			
性		助金又は貝担 :場合にどのよ			□ 影響か	ない		1台1.16万章	貝がソルビリンで、後かったしてはり、よには少く同かでのクックで			
評	⑥ 類	以事業との舒	施廃合・連携	の可能性	— /h/- =	_ EΠ ±8+~ι			(他に手段がある場合の事務事業名等)			
価	•他	に同様の補助	金又は負担会	金はないか?	■他に手							
	• 心	廃合や連携す	ることか ぐさん	\$1,137.5	□ 他に手		る い □ 連携	できない				
						oce る		できる				
С		業費の削減分			■ おい年~	> +4h +5°+>1	,					
		付先に働きかけができないから		担を削減する	┃ ■ 削減分			事業費の	の殆んどは必要経費であり、削減は難しい。			
効率		ァーラップ <mark>牛費(延べ業</mark>		削減金地		(-0.00 0)						
性					■ 削減余地がない			人件費と	としては、予算執行事務と投入立会いのみであるの			
評価		り方を工夫して と削減できない		係る業務時	┃ □ 削減弁	ὲ地がある	<u>a</u>		以上の削減は難しい。			
D 公		益機会・費用			■公平・	公正でお	ر م					
平性		助金又は負担 いて不公平では		対益者に偏っ				受益者は	全ての漁業者であるため適正である。			
評 価	•受	益者負担が公	平公正になっ	っているか?	□ 見直す	必要から	める					
***	(1)1;	欠評価者(課	長)としての	評価結果		(2)全	体総括(振	り返り、反	豆省点)			
総		目的妥当性	■適切	□ 見直す必								
		可効性 	■適切		必要がある	適切	な事業であ	り現状を維持	持する。			
括		か率性 ハエゼ	適切		必要がある							
	_	公平性	適切	□ 見胆す业	必要がある							
		<mark>方向性<pl< mark=""> 注果にもとづく</pl<></mark>		1性			(2) 廖 ৷	ては休止す	すべきとした場合の理由			
(1)	□ 廃」			· 当性①②、有	効性⑥の約		(2/196112)		,。CCOに物目の 在田			
	□ 休』	Ł	[目的妥	当性①②、有	効性⑥の約	吉果]						
		内再設定		的妥当性①③								
		業統合•連携 効性改善(成果		効性⑤の結果 効性のの結果	=							
		が注以告(成未 を性改善(コス)			=							
		P性改善		·平性⑨の結果	· · · -							
	■ 現物	犬維持∙継続	⇒(3)具体的	的な改善計画	は不要							
(0)			*/	'(1) 0 7	L				h a l			
		<mark>は改善計画</mark> 年度の取組		<mark>(1)のチェック</mark> 期待されるか					むのか ^く き具体的な内容			
•	1 /2/27	一人又	MW & X O	M110 C10 0X	,, E	/ 1 /2/2	-0 - / / / / / / / / / / / / / / / / / / 	X / / III	·C. (((((((((((((((((((
I												

評価対象	象年度	平成 23年度	事系	務事	業評	価 表	<u>_ <補助金</u>	₹∙負担金用			様式2
事務	-	742615 事	務 漁業	 差資源 放	x流支援事	業(パイロット	∽事業)			農林水産	
政策		争耒	美名 ***********************************							<mark>果</mark> 林務水産 プ水産グル-	
施策			水産業の振	-					電話番号		
基本事		2 生産基盤		<u> </u>					内線番号		
_	会計	一般会計				事業		度のみ			
予 算	款	6 農林水産				事業 期間		度繰返(開始:			
算 科	項日	3 水産業費	-				□期間降	限定複数年度	(-	~)
目	コード	2 水産業扱 742615	成興賀 ———			根拠法令· 条例等	霧島市水産訓	業事業補助金交	付要綱		
補助負担:	金別	□ 団体の運営			体の活動支	.援 □] イベント等の	 D補助 □	協議会等負	担金	
1. 現状	把握	(1)事務事業の	目的と指標	< Do	o>						
_		務事業の概要)									
		る放流を行う事業の <mark>途の交付先</mark> 錦江	漁業協同組				助金の対象紹		3·福山町漁協		
② 活動	助指標 (3	事務事業の活動量))				単位	22年月			25年度
	1金交付団						団体	(実績		(見込) 2 2	(見込) 2
	並入口口	1744 女人					团址			·	-
1										1	
о	_		_	_	_	_				T	
③ 対		生、何を	④ 対象:	指標	(③対象の)		単位	22年月			25年度
	对	象にしているのか)			30	長す指標)		(美領		(見込) 260	(見込)
ア海面	漁業 _年		海面漁業者				人		270 269		
1			放流回数				田			4 4	
⑤意	翼 (対	対象を どうしたいのか)	⑥ 成果	指標	(⑤意図の 達成度を	を表す指標)	単位	22年月		24年度 (見込)	25年度 (見込)
ア漁業	者の経営		霧島市漁獲	進高	KE171-12-	11X / 1HM.	t		10 (美積) 165 465		
	14 V n.s	<u> </u>	初9 147 11-11	支[F]							
1											
<mark>ウ</mark>											
⑦結		んな結果に 結び付けるのか)	8 上位/	成果指标		吉果の達成度 表す指標)	単位	22年月		24年度 (見込)	25年度 (見込)
ア効率		を行う基盤が整う	放流した稚	単魚の数		X / JH M.	万尾	37.			()6.2.
(2) 車機	lie stite		ν <u>υ</u> . « π	*40) 市		ではななな ル。A	日本日本				
(2)事業	長貨		単位:千円			環境変化・住		古	au エ 田 コ 1 米 / :		/ n+ #0 T7
		23年度 (決算)	24年度 (予算)	^① きっ	っかけで開始	は、いつ頃、 始されたのか	۸,	② は5年前	業を取り巻くま 有と比べてどう	う変わったの	か?
プ	初予算額	194	194			していく湾奥の ため、平成8年		湾奥に位置す 高齢化、漁業資	する漁場のため 資源の減少等、		
	正予算額			れた。	竹八こ	= V2 1 179 .	(X &)	は厳しい。	11/h*~ v//	1/m/2/K pr = .	7°E' \>1
智 予算	算合計	194	194	.]			!				
		 -									
国庫	車補助金			$_{\odot}$ $=\sigma$)事務事業	に対して誰か	ァ らどんな意		务事業に対す	 る議会から	出された
	支出金					けせられている		息兄			
決 算	方債					境が悪化していましい(地元漁		特になし。		_	_
額 その				V-2 .	100/1	70 1	1037 5				
	般財源	194					!				
支出	出合計	194					!				

■運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位:千円

1	给汗洛当					名				(決算)	度	(予定))	平成25年度 (予定)		
1		#1+ /	л А							補助金	128	補助金	128	補助金	128	
1	動	業協同	祖台							自主財源	201	自主財源	201	自主財源	201	
	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計	329	合計	329	合計	329	
	地区							0		自主財源率	61%	自主財源率	61%	自主財源率	61%	
	福山町流	ムギャン ロ	∃組合							補助金	66	補助金	66	補助金	66	
_	1曲四四//	思禾 肋	り租口							自主財源	94	自主財源	94	自主財源	94	
2	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計	160	合計	160	合計	160	
	地区								0	自主財源率	59%	自主財源率	59%	自主財源率	59%	
										補助金		補助金		補助金		
3										自主財源		自主財源		自主財源		
3	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計		
	地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
										補助金		補助金		補助金		
4										自主財源		自主財源		自主財源		
4	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計		
	地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
	,									補助金		補助金		補助金		
_										自主財源		自主財源		自主財源	-	
5	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計		
	地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
										補助金		補助金		補助金		
6										自主財源		自主財源		自主財源		
6	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計		
	地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
										補助金		補助金		補助金		
7										自主財源		自主財源		自主財源		
′	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計		
	地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
										補助金		補助金		補助金		
8										自主財源		自主財源		自主財源		
٥	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計		
	地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
		-				-				補助金		補助金		補助金		
9										自主財源		自主財源		自主財源		
3	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計		
	地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
		-				-				補助金		補助金		補助金		
10										自主財源		自主財源		自主財源		
10	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計		
	地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
			計							補助金負担金合計	194	補助金負担金合計	194	補助金負担金合計	194	
										自主財源合計	295	自主財源合計	295	自主財源合計	295	
										自主財源率	60%	自主財源率	60%	自主財源率	60%	

■負担金の状況

単位:千円

	口 从 点 劫 举 人 点		平成23年度	平成24年度	平成25年度		負担金(の支払先	114 . 1 1 1
	団 体 名•協 議 会 名		(決算)	(計画)	(予定)	全国	九州	県	その他
1		負担金額							
2		負担金額							
3		負担金額							
4		負担金額							
5		負担金額							
		合計							

当初予算	194
補正予算	
合 計	194

<補正予算内訳>												
第1回			第4回			第7回						
第2回			第5回			第8回						
第3回			第6回									

	務事業 コード	742615	事務 事業名	漁業資源	放流支援	事業(ノ	パイロット事	業)				農杯2 	
2	評価の	部 <see></see>				評価					一		Productive professional and a second
		策体系との整						111 to 2 +10	オーファレル				51x - 4.2°0 # # # 46
A	(基	の事務事業の 本シートの結り	果)に結びつく		■ 結びつ□ 見直す				流することによ 行う基盤が整っ				定につながり効率的 いている。
目的	② 公	共関与の妥当	当性		■ 页业っ	5 to Z		種苗の放	流事業により	漁業者	針の経	営安定を	・図ることができ,霧
妥当	・なのか	ぜ市が補助又 い?	は負担しなけ	ればならない	■ 妥当で □ 見直す		ある						ことから妥当であ
性	③ 対	象・意図の妥	·当性		■適切で	である							
評価	• ঠা	象や意図を限	空マは追加っ	ナ ベキかり	□ 対象を	見直す	必要がある		奥の活性化に にしているのっ				1を利用する一般市
	. 7.1	※ 1 心囚で限	.た入は追加:	9 - 10 11 - 1	□ 意図を	見直す	必要がある	10/13/1	CO (V .50)	C Ø =	Care	J ₀	
	④ 成:	果の向上余均	也			S. Lal. 11 July 1	_						
В		果指標の現状 させることができ		水準まで向	■ 向上弁 (十分 □ 向上弁	に成果か	(出ている)	事業目的	以上の成果的	句上余	地はた	ない。	
	⑥ 康	止・休止の成	田への影響	<u> </u>		\-L-0.0 05							
有効性	·補	助金又は負担 場合にどのよ	!金の交付を厚	を止又は休止	■ 影響か			11-1111 7151	流を中止する た漁獲高が漏		, .	弯内の資泡	原の維持培養が難
評価	⑥ 類	以事業との紡	· 連携	の可能性	■他に手	こ Eひ イジナンロ	`		(他に	手段加	ぶある:	場合の事	務事業名等)
価		に同様の補助 廃合や連携す			-								
				T(,N) ; ;			い 🗌 連携	できない できる					
С	⑦ 事	業費の削減分	余地		- 101 - A	> 1:1. <i>1 % d</i> is-1							
効	こと	付先に働きかいができないから	?		■削減分□削減分			事業費の	すべてが放流	た時の,	用船作	弋等であり),削減は難しい。
率性	8 人1	件費(延べ業	務時間)の	削減余地	■ 削減会	≥+他 がたい							
評価	・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?				■ 削減余地がない			人件費はない。	予算執行事務	务と放う	流の 立	∑会いの∂	みであり,削減余地が
D 公	9 受	益機会·費用	負担の適正	化余地				丰	+W -7 011	. At 34 1	+	7 11 7 7	511. b 11. b 11. a 2b 10
五平性評価	・補助金又は負担金が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?				■ 公平・公正である 事業質を又紹する に放流されるため、 □ 見直す必要がある 民となる。							_ , _)稚魚は公共の漁場 なく,遊漁者等広く市
ТШ		欠評価者(課				(2)全	本総括(振	り返り、反	省点)				
総	ΑĘ	目的妥当性	■ 適切	□ 見直す必	必要がある								
	В₫	与 効性	■ 適切	□ 見直す必	必要がある	Nate Land	ショ 米マン	10 TH (11 2 444-4	ナーフ				
括	СŻ	効率性	■ 適切	□ 見直す必	必要がある	週9/	よ争業であ	り現状を維持	すする。				
	D 2	公平性	■ 適切	□ 見直す必	必要がある								
3	今後の	方向性 <pl <="" th=""><th>AN></th><th>_</th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th></pl>	AN>	_									
(1)	評価結	果にもとづく					(2)廃止	又は休止す	けべきとした	場合	の理	#	
	□ 廃⊥		2	·当性①②、有	<i>,,,,</i>								
		E 内再設定		当性①②、有 的妥当性①③		古朱」							
		mortoc 業統合•連携	= -	効性⑤の結果									
	_ □ 有刻	动性改善(成果	!向上) [有	効性④の結果	!]								
		率性改善(コス			· · · -								
	_	平性改善	=	平性⑨の結果	=								
	■ 現制	犬維持・継続	⇒(3)具体目	的な改善計画	は个要								
(3)	具体的	な改善計画	*	(1)のチェック	項目に対	し、具体に	内にどのよ	うに取り組む	たのか				
		年度の取組							き具体的な	内容			
1													

評価対	才象年度	平成 23年度	事系	务 事	業評	価 表	<補助金	· 負担金用	>		様式2
	务事業		務 漁業	資源 放	流支援事	業(種苗放源			担 当 部	農林水産	
	1ード	争美	名			, (<u> </u>	10-1-2/07			林務水産	
	(策名		産業のまち							水産グル-	
	策名		(産業の振	興					電話番号		1
- 基本	事業名	2 生産基盤	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・					中の 2	内線番号	2371	
予	会計款	一般会計 6 農林水産	2. 光弗			事業	_	度のみ 度繰返 (開始:	FF 11 10	○ 午 亩 • .	`
算	項	0 展				期間	_	及樑返(用始: 限定複数年度			
科目	目	2 水産業振				TO MONT A		限正複数平皮	(~	<u>, </u>)
日	コード	742614	(根拠法令	霧島市水産	業事業補助金交	付要綱		
2苗	<u> </u>	742014				N(1)1,1					
	旦金別	□ 団体の運営	支援	■団体	体の活動支	援] イベント等の	の補助 □	協議会等負	担金	
1. 現	状把握	(1)事務事業の目	目的と指標	< D	o>						
①手	段(事	務事業の概要)									
,		うことにより、資源の	維持増殖に	タカスト.	レも、に治猫の)向上を図り	地区海民の生	産を高め生活 σ	安定を図る		
1至田 🗸	///X1/ILC []	ノことにより、貝切パック	小田1.1.5日7四10	77 67 20 6		/門上と囚グ、	20日1/11日ペップエ	/主と同い/工1日・/	ALZEDO.		
補助	金•負担金	<mark>をの交付先</mark> 錦江流	魚業協同組合	合		補	助金の対象線	圣費 錦江漁業	協同組合の活	・動に要する	
② 活	動指標(事務事業の活動量)					単位	22年月		24年度	25年度
ア補具	助金交付団						団体	(実績) (実績) 1 2	(見込) 2	(見込) 2
イ放	流回数						田		1 2	2	2
ウ											
	/≥/	生、何を			(③対象の)	上 キ.ナナ.		22年月	₹ 23年度	24年度	25年度
③ 対		象にしているのか)	④ 対象:	指標		人ささを をす指標)	単位	(実績		(見込)	(見込)
ア海	面漁業者		海面漁業者	皆数			人	1	42 158	158	158
1 内:	水面漁業者	<u>.</u>	内水面漁業	と 去 粉					27 27	27	27
	(4	' '象を			(⑤意図の			22年日		24年度	25年度
⑤ 意		がな どうしたいのか)	⑥ 成果	指標		を表す指標)	単位	(実績		(見込)	(見込)
ア漁	業者の経営	安定	霧島市漁獲	 善高			t	4	65 465	465	465
1											
ウ											
⑦結	果 ^{(と}	んな結果に 結び付けるのか)	⑧ 上位)			果の達成度表す指標)	単位	22年月 (実績		24年度 (見込)	25年度 (見込)
マが	変的 わとま	を行う基盤が整う	放流した和	・	- 2	区 7 1日1示/	万尾				(元匹)
ア効率	学的な生産	とで117基盤が登り	が父がにしてこれ	思り数			刀尾	39.	6 41.4	40.7	
1											
(2)事	業費	単	位:千円	(3)事	務事業の理	環境変化∙伯	民意見等				
		23年度	24年度	_∞ =0)事務事業(は、いつ頃、	どのような	。 事務事業	美を取り巻く環	環境は、開始	台時期又
			(予算)	(1) きっ	かけで開始	台されたのか	13		と比べてどう		
	初予算額	658	658				の水資源の維	漁業者の高齢	化や漁業資源	原の減少など	水産業を
プ	正予算額	<u> </u>		持や増	大を図るため	う平成18年か	ら実施。	取り巻く環境は	年々厳しくなっ	ってきている。	
安百			CEO.								
Ť	算合計	658	658								
F	ᆙᅷᆔᄼ										
	庫補助金			3 = 0	事務事業 5更望が安	に対して誰ぇ せられてい	からどんな意 ろかっ	④ この事務 意見	野業に対す	る議会から	出された
	支出金										
決 算 額	方債					と防ぐためにも い(錦江漁業	放流事業等 協同組合)。	特になし。			
額そ	·の他										
	·般財源	658									
支	出合計	658									

■運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位・千円

		ज	体系	ス・協	議会	名				平成23年	度	平成24年		平成25年度		
			PTY 'L	ענעו ב	их д	.п				(決算)		(予定)		(予定)		
	錦江漁ӭ	集協同	組合							補助金	273	補助金	273	補助金	273	
1							l		1	自主財源	332	自主財源	332	自主財源	332	
	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計	605	合計	605	合計	605	
	地区							0		自主財源率	55%	自主財源率	55%	自主財源率	55%	
	天降川流	魚業協	司組合							補助金	385	補助金	385	補助金	385	
2				ı						自主財源	620	自主財源	620	自主財源	620	
_	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計	1,005	合計	1,005	合計	1,00	
	地区					0				自主財源率	62%	自主財源率	62%	自主財源率	62%	
										補助金		補助金		補助金		
3		I	ı						1	自主財源		自主財源		自主財源		
۱	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計		
	地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
										補助金		補助金		補助金		
4										自主財源		自主財源		自主財源		
4	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計		
	地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
										補助金		補助金		補助金		
_										自主財源		自主財源		自主財源		
5	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計		
	地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
					II.					補助金		補助金		補助金		
										自主財源		自主財源		自主財源		
6	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計		
	地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
					1					補助金		補助金		補助金		
										自主財源		自主財源		自主財源		
7	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計		
	地区		L174	117.0	100	0 1	433 1-4	124	THAT !	自主財源率		自主財源率		自主財源率		
十										補助金		補助金		補助金		
										自主財源		自主財源		自主財源		
8	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計		
	地区		L174	1177	1207-1	DV	437 124		ПШТ	自主財源率		自主財源率		自主財源率		
										補助金		補助金		補助金		
										自主財源		自主財源		自主財源		
9	+1.F	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計		
	対象地区	土山	四刀	押旭	1页/11	八四	粉缸	牛八	ШШ	自主財源率		自主財源率		自主財源率		
\dashv	- 22				<u> </u>					補助金		補助金		補助金		
										自主財源		自主財源		自主財源		
10		公士	国八	溝辺	横川	牧園	霧島	焦!	/ / / / / / / / / / / / / / / / / / /							
	対象地区	全市	国分	傅辺	(大)	权图	務局	隼人	福山	合計		合計		合計		
	7G KZ		= 1							自主財源率	0.75	自主財源率	0=6	自主財源率	0 =	
			計							補助金負担金合計	658	補助金負担金合計	658	補助金負担金合計	658	
										自主財源合計	952	自主財源合計	952	自主財源合計	952	
										自主財源率	59%	自主財源率	59%	自主財源率	59%	

■負担金の状況

単位:千円

	- 1 - 1 - 4 - 5		平成23年度	平成24年度	平成25年度		負扣金(の支払先	12. 111
	団 体 名•協議会名		(決算)	(計画)	(予定)	全国	九州	県	その他
1		負担金額							
2		負担金額							
3		負担金額							
4		負担金額							
5		負担金額							
		合計							

当初予算	658
補正予算	
合 計	658

<補正予算	内訳>				単位:千円
第1回		第4回		第7回	
第2回		第5回		第8回	
第3回		第6回			

	務事業 1一ド	742614	事 務事業名	漁業資源	放流支援	事業(積	一 苗放流事	- 業)				
2		ポ <see></see>				評価			評価理由			
А	•=0		合性 目的は基本事 果) に結びつく		■ 結びつ□ 見直す				な流を行うことによって漁業者の経営安定が図られ,結 ぶ系に結びつく。			
目的妥当	・なっのか	·?	は負担しなけ	ればならない	■ 妥当で		ある	種苗の放め妥当で	x流事業により漁業者の経営安定を図ることができるた ある。			
性評価		*・意図の妥 象や意図を限	当性 定又は追加す	[⊢] べきか?		見直す』	必要がある 必要がある	対象は漁	協,意図は漁業者の経営安定であるため妥当である。			
В	·成:	の向上余り 果指標の現状 せることができ	は値をあるべき	水準まで向	■ 向上弁 (十分 □ 向上弁	に成果が	(出ている)	事業目的	刀以上の成果向上余地はない。			
有効性	•補.	助金又は負担	果への影響 1金の交付を原 うな影響がある	E 止又は休止	■ 影響か □ 影響か				な流を中止することにより,湾内の資源の維持培養が難 また漁獲高が減少する。			
評価	•他	こ同様の補助	依廃合・連携)金又は負担金 つることができた	をはないか?		段がある			(他に手段がある場合の事務事業名等)			
C 効	•交 [,]	達費の削減 付先に働きか ができないか	けて、市の負担	担を削減する	■ 削減分□ 削減分	≷地がない		事業費の	けるとんどは必要経費であり,削減は難しい。			
%率性評価	ام.		務時間)の で事務事業にかか?		■削減分□削減分			人件費はない。	オ予算執行事務と放流の立会いのみであり,削減余地が			
D公平性評価	・補. てい	助金又は負担 て不公平でに	負担の適正 !金が一部の受 はないか? :平公正になっ	受益者に偏っ	■ 公平・			その稚魚は錦江湾の漁場に放流され,受益者は全ての役であるため適正である。				
	(1)12	マ評価者(課	長)としての	評価結果		(2)全	体総括(振	り返り、反	支省点)			
総括	B 有 C 刻	的妥当性 効性 率性	■ 適切 ■ 適切 ■ 適切	□ 見直す必 □ 見直す必 □ 見直す必	必要がある 必要がある	適切	な事業であ)現状を維持	持する。			
		·平性	適切	□ 見直す必	必要がある							
		<mark>5向性<pl< mark=""> 用にもレベノ</pl<></mark>	AN> 合後の方向	栣			(2) 廃止 7	71十份 止っ	すべきとした場合の理由			
(1)	一 廃止	-		·当性①②、有	効性⑥の約	:果]	(乙)煙瓜)	CIAMES	9 へきとした場合の座田			
	□ 事業 □ 有効 □ 効率 □ 公平	再設定 統合・連携 性改善(成果 性改善(コス ・性改善	[目 [有 向上) [有 	率性⑦⑧の絹 平性⑨の結果	の結果] ! ! ! ! ! ! ! ! !	吉果]						
(2)	目体的	たみ美計画	*	(1) 0 =	対策 ロルかり	日仕	めにはの と	こと 田っ 川 夕日 岩	*\ @ *\			
		<mark>な改善計画</mark> 年度の取組	み概要及び	<mark>(1)のチェック</mark> 期待される交					むのか ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・			
		, and an investment of										

					,	-17		 ~~~			77 13	_		
事務事		7422	事務	林道整	供車業	:(旧畄)					担	当	部	農林水産部
□ -1	*	7422	事業名	你 但正	畑尹木	(木千)					担	当	課	林務水産課
政策名	<u>ያ</u>	3	活力ある産	業のまち	づくり						グ	ルー	プ	林務グループ
施策名	<u>ረ</u>	1	農∙林∙水産	業の振興	ļ						電	話番	号	45-5111
基本事業	集名	2	生産基盤の)整備							内	線 番	号	2361
	会計	一 角	股会計											
科目	款	6	農林水産業費	ř	項	2 林業	: 書	日	3	林道事業費				-ド 742215

1	現状把握	(1)事務事業の目的	<do></do>

単位:千円

③ 対 象 (誰、何を対象にしているのか)	4 意 図 (対象をどうしたいのか)	⑤ 結 果 (どんな結果に結びつけるのか)
林道の未改良(路線・流末)・未舗装路線	林道を改良(路線・流末)、舗装することによって間 伐等森林整備の作業効率が高まる。	効率的な生産を行うための基盤が整う。

畨	路線名等		平成23年度		平成24年度	完了	備考
番号	四條石寺	区分	` 実績	区分	平成24年度 計画	完了 予定	畑つ
1	林道 上井線				道路改良 L=100m W=4.0m 用地·補償·委託·工事	H 26	
		国分	9,600	国分	10,000		
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
	<地区別>	糾	継続= 1 新規= 0	総	続= 1 新規= 0		

H 23 H 24 国分 1 1 溝辺 横川 牧園 霧島

福山

<全体事業費>		費>	平成23年度決	:算(A)	平成24年度	[計画(B)	前年度比較(B)-				
事	業	費		9,600		10,000		400			
事	務	費		0		0		0			
合		計	1路線	9,600	1路線	10,000	0	400			

<財源内訳>	平成23年度決算(A)	平成24年度計画(B)	前年度比較(B)-(A)		
国庫補助金			0		
県 支 出 金	3,840	3,360	▲ 480		
地 方 債			0		
その他			0		
一般財源	5,760	6,640	880		
슴 計	9,600	10,000	400		

(2)事務事業に対する住民意見等

①誰からどんな意見や要望が寄せられているか?

② この事務事業に対する議会から出された意見

山林所有者及び地域住民からの山地崩壊の危険性の苦情や路面水 の流末整備について強く要望されている。また、林道舗装についても早 期完成を望む要望が寄せられている。

特になし。

事務事業	7/12215	事務	—————————————————————————————————————	担	当	部	農林水産部	
コード	742213	事業名	外 担登佣争未\宗早 <i>)</i>	担	当	課	林務水産課	

		7.7.1		1 304147 PK
2 評		SEE>	評価	評価理由
Α [目的妥当性	① 政策体系との整合性 ・この事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	■ 結びついている □ 見直す必要がある	林道の整備を行なうことにより、森林整備の作業効率を高め、林業生産機能の向上及び効率的な生産を行なうための基盤整備に結びつく。
	評価	② 公共関与の妥当性・この事業をなぜ市が行わなければならないのか?・税金を投入して、達成する目的か?	■ 妥当である □ 見直す必要がある	林道の整備は市の役割である。
В	有効性評価	③ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合に どのような影響があるか?	■ 影響がある □ 影響がない	林道流末未整備による山地災害の危険性、 林道の維持管理費の増加及び森林整備の停 滞、山間集落の衰退につながる。
	ᄿᅑᄱᄞᄺ	事業費の削減余地・仕様や工法の適正化等により事業費を 削減できないか?	■ 削減余地がない □ 削減余地がある	必要な箇所のみの改良実施と仕様や工法決 定の段階で事業費の削減を図っており、削減 の余地はない。
, C	C 効率性評価 ⑤ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?		 ■ 削減余地がない □ 削減余地がある	通常の事務については職員で対応しているが、設計積算や測量等の業務については委託を行なっており、削減の余地はない。
D ?	公平性評価	⑥ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って いて不公平ではないか?	■ 公平・公正である □ 見直す必要がある	市全域の全路線を対象に検討を行い、必要な箇所から実施しているため、公平・公正である。
	(1)1次評	価者(課長)としての評価結果	(2)全体総括(振り返り、反省点	<u>.</u>
総括	A 目的妥当 B 有効性 C 効率性 D 公平性	■ 適切 □ 見直す必要がある	林道整備については、森林整備を対 業等により森林整備の作業効率を高る	推進する観点から、今後は開設、改良、舗装事 めたい。
3 4	今後の方向性	<plan></plan>		
		もとづく今後の方向性	(2)具体的な改善計画 (又は廃	ē止·休止すべきとした場合の理由)
	廃止	[目的妥当性①②、有効性③の結果]		
	່ 休止	[目的妥当性①②、有効性③の結果]		
]有効性改善	[有効性③の結果]		
] 効率性改善(
] 公平性改善	[公平性⑥の結果]		

■ 現状維持・継続 ⇒(2)具体的な改善計画は不要

	西対象年		平成	23	年度		4	事 教	务事	業	<u>評</u>	<u> </u>	<	<u>〔道路</u>	整備・	複数路	線月				様式4
事	務事業		7422	16	事	務	林	首整值	備事業 ((公共))						担			農林水	
	コード				事業												担			林務水	
	政策名		3					まちて													ブループ
	施策名		1					振興												45-51	11
	本事業		2			盤の	整備										内	線番	一号	2361	
	· 算 会 · 目 · 意		一般			₩#			- 0	++ -	<u></u> 此				0 +	上字中安井			1_	1.8	740016
	.,,				水産				項 2	林美	美賀			目	3 林	林道事業費	Ĺ		7	<u>−</u> ド	742216
	現状把				事業				Oo>												立:千円
3	対象	(誰、何	を対	象に	してい	いるの	か)	④ 意		(対1	象をどう	したい	のか)		⑤ 結!	果	(どんか	よ結り	果に結び	べつけるのか)
林道	道の未舗	装路絲	泉							:舗装す ^ぶ 高まる		によって	【間伐森	森林整備	帯の作業	効率的な	生産	を行なう	ため	の基盤が	が整う。
番号		路	線名	等					平成	23年度					平成24				了		備考
号		ъ.		٠,			区分	4出北-	工事 L=	<u>実績</u>		1 0m	区分			計画		予	定		im . J
1	林道 桑	:木鶴	線				継続	邢衣	T# L	-136111	vv — 4	:.0111									
							溝辺				(6,140									
2	ĺ					ŀ															
3						7															
4						+															
_						\dashv															
5						4															
6						_															
7	ĺ												<u> </u>								
8						1															
						\dashv															
9																					
10	l					-															
		区別	>			\dashv	継	続=	1	新規	見一	0	総	<u>↓</u> ≚続=	0	新規=	0	+		<u>. </u>	
			B H 2	4 .	く全化	_ 体事	業費		3	平成23	4年度)	決算(A	()		平成24年	年度計画(B)		前年	F度比較	交(B)-(A)
	国分				<u>•—</u>	······· 業		<u>·</u> 費					,140				0				▲ 6,140
	溝辺	1			事	務	ζ	費													0
	横川				合			計		1路絲	泉	6	,140		0路線	1	0		▲ 1	路線	▲ 6,140
	牧園									- 1		L +- :							·		± /= \
	霧島						<u><</u> 児		3	平成23	年度	決算(A			平成24年	年度計画(B)		前年	F度比較	交(B)-(A)
	隼人 福山			-I $+$		車 補 支	助	金 金	-				000 720					+			▲ 2,000 ▲ 720
	↑毎山			- ⊢	県 地	文 方		<u></u> 債	-				120								720
				_	地そ	の		他	1												0
						般		源	 			3.	420								▲ 3,420
				_	合	~		計					140				0				▲ 6,140
(2)	事務事	業に	対す			見															
	誰から							れてし	いるかつ	?		2	この事	務事第	美に対す	⁻ る議会か	ら出る	された	意見		
地	域住民が	ぎ 管理	!する	山林;	が林道	直沿線	泉にあ	り、里	山として	親しま											
	め、地域 道 桑木額			主な道	囲行の)ため	いこも「	习路線	の舗装	の要望	が強い	`									

 事務事業 コード
 742216
 事務事業 事業名
 林道整備事業(公共)
 担当部農林水産部

 担当課
 林務水産課

2	評価の部 <	SEE>	評価	評価理由				
А	目的妥当性	① 政策体系との整合性 ・この事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	■ 結びついている □ 見直す必要がある	林道の整備を行なうことにより、森林整備の作業効率を高め、林業生産機能の向上及び効率的な生産を行なうための基盤整備に結びつく。				
	評価	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	■ 妥当である □ 見直す必要がある	林道の整備は市の役割である。				
В	有効性評価	③ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合に どのような影響があるか?	■ 影響がある □ 影響がない	林道の維持管理費の増加及び森林整備の停滞、山間集落の衰退につながる。				
	効率性評価	事業費の削減余地・仕様や工法の適正化等により事業費を 削減できないか?	■ 削減余地がない □ 削減余地がある	仕様や工法決定の段階で事業費の削減を図っており、削減の余地はない。				
	划华注計画	⑤ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務 時間を削減できないか?	■ 削減余地がない □ 削減余地がある	通常の事務については職員で対応しているが、設計積算や測量等の業務については委託を行なっており、削減の余地はない。				
D	公平性評価	⑥ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って いて不公平ではないか?	 公平・公正である 見直す必要がある	市全域の全路線を対象に検討を行い、必要な箇所から実施しているため、公平・公正である。				
	(1)1次評	価者(課長)としての評価結果	(2)全体総括(振り返り、反省点					
総括	A 目的妥当 B 有効性	当性 ■ 適切 □ 見直す必要がある ■ 適切 □ 見直す必要がある		推進する観点から、今後は開設、改良、舗装事				
3 4	今後の方向性	<plan></plan>						
		もとづく今後の方向性	(2)具体的な改善計画 (又は廃	・休止すべきとした場合の理由)				
	□ 廃止	[目的妥当性①②、有効性③の結果]						
	□休止	[目的妥当性①②、有効性③の結果]						
	─ ·· ─]有効性改善	[有効性③の結果]						
	_ ····· □ 効率性改善((コスト削減) [効率性④⑤の結果]						
	□ 分·性改善 □ 公平性改善	[公平性⑥の結果]						
		*結 →(2)目休的かお美計画は不再						

様式4

事務事		7422	事務	林道整備	車業					担			農林水産部
	ド	7422	*	你但正佣	尹木					担	当	課	林務水産課
政策	名	3	活力ある産	業のまちづ	くり					グ	ルー	プ	林務グループ
施策	名	1	農∙林∙水產	産業の振興						電	話 番	号	45-5111
基本事	業名	2	生産基盤の	D整備						内	線 番	号	2362
予算	会計	→ Á	役会計										
科目	款	6	農林水産業費	項	2	林業費	目	3	林道事業費				-ド 742212

1. 現状把握 (1)事務事業の目的 <Do>

単位:千円

③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 意 図 (対象をどうしたいのか)	⑤ 結 果 (どんな結果に結びつけるのか)
	林道開設や林道改良、舗装を行うことにより間伐 等森林整備の作業効率が高まる。	効率的な生産を行う基盤が整う。

_				_				
番号	路線名等	E ()	平成23年度	- A	平成24年度	完了	備考	
亏		区分	実績	区分	計画	予定	J	
1	荒平線	継統	#11月	継続	道路改良 L=240m W=4.0m 用地·補償	H 29	ふるさと林道緊急整 備事業	
		牧園	20,080	牧園	20,948			
2	伊勢坂線	継続	道路改良 L=431m w=3.0m 補償	継続	道路改良 L=400m w=3.0m 用地·補償	H 25	辺地対策事業	
		溝辺	23,042	溝辺	25,000			
3	国分山麓線	継続	用地·補償·委託		用地·補償·委託	H 26	広域基幹林道整備 事業	
		国分	789	国分	3,500		デ木	
4	大屋敷線	新規	道路改良 L=130m W=4.0m		道路改良 L=300m W=4.0m	H 25	過疎対策事業	
		福山	2,814	福山	4,500	<u> </u>		
5	上井線		概略測量設計委託				林道整備事業(県単) で実施	
		国分	294				- JC//IEI	
6	高松線(仮称)	新規	概略測量設計委託					
L		国分	494				<u></u>	
7	大谷第2支線			新規	測量設計委託 L=1,473m W=4.0m	H 27	過疎対策事業	
				横川	4,500			
8	小田西線	新規	測量設計委託					
		隼人	462					
9								
10								
. ŭ						ļ	1	
M		継	<u>1 </u>	継	<u>I</u> ≚続= 4 新規= 1		1	

<地区別>

	H 23	H 24
国分	3	1
溝辺	1	1
横川		1
牧園	1	1
霧島		
隼人	1	
福山	1	1

<全体事業費>			費>	平成23年度流	決算(A)	平成24年度	計画(B)	前年度比較(B)-(A)			
Π	事	業	費		47,975		58,448		10,473		
	事	務	費						0		
	合		計	7路線	47,975	5路線	58,448	▲ 2 路線	10,473		

<財源内訳>	平成23年度決算(A)	平成24年度計画(B)	前年度比較(B)-(A)		
国庫補助金			0		
県 支 出 金			0		
地 方 債	43,800	52,800	9,000		
そ の 他			0		
一般財源	4,175	5,648	1,473		
合 計	47,975	58,448	10,473		

(2)事務事業に対する住民意見等

① 誰からどんな意見や要望が寄せられているか?

② この事務事業に対する議会から出された意見

地元自治会や森林所有者より、山村地域の振興や定住環境の改善の特になし。 ために早期完成が望まれている。

2	評価の部 <	SEE>	評価	評価理由			
_	子屋の間	① 政策体系との整合性	BT IM				
А	目的妥当性	・この事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	■ 結びついている □ 見直す必要がある	林道整備を行うことにより、森林整備の作業効率を高め、林業生産機能の向上及び効率的な生産を行うための基盤整備に結びつく。			
	評価	② 公共関与の妥当性					
		・この事業をなぜ市が行わなければならないのか?・税金を投入して、達成する目的か?	■ 妥当である □ 見直す必要がある	林道整備は市の役割である。			
		③ 廃止・休止の成果への影響					
В	有効性評価	・事務事業を廃止又は休止した場合に どのような影響があるか?	■ 影響がある □ 影響がない	林道の維持管理費の増加及び森林整備の停滞、山間集落の衰退につながる。			
		④事業費の削減余地					
_	効率性評価	・仕様や工法の適正化等により事業費を 削減できないか?	■ 削減余地がない □ 削減余地がある	仕様や工法決定の段階で事業費の削減を 図っており、削減の余地はない。			
	が 牛は計画	⑤ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務 時間を削減できないか?	削減余地がない削減余地がある	通常の事務については職員で対応している が、設計積算や測量等の業務については委託 を行っており、削減の余地はない。			
		⑥ 受益機会・費用負担の適正化余地		市全域の全路線を対象に検討を行い、必要			
D	公平性評価	・事業の内容が一部の受益者に偏って いて不公平ではないか?	■ 公平・公正である □ 見直す必要がある	な箇所から実施しているため、公平・公正であ る。			
	(1)1次評	価者(課長)としての評価結果	(2)全体総括(振り返り、反省点	ā)			
総	A 目的妥当	6性 ■ 適切 □ 見直す必要がある					
	B 有効性	■ 適切 □ 見直す必要がある	+ 学動性にのいては 本井動性たり	足進する観点から、今後は開設・改良・舗装事業			
括	C 効率性	■ 適切 □ 見直す必要がある	等により森林整備の作業効果を高め7				
竹	D 公平性	■ 適切 □ 見直す必要がある					
	DATE	■ 過労 □ 元直・必安かのる					
3	今後の方向性	<plan></plan>					
(1)評価結果に	もとづく今後の方向性	(2)具体的な改善計画 (又は廃	止・休止すべきとした場合の理由)			
	□ 廃止	[目的妥当性①②、有効性③の結果]					
[□休止	[目的妥当性①②、有効性③の結果]					
[□有効性改善	[有効性③の結果]					
[□ 効率性改善(
	□ 公平性改善	[公平性⑥の結果]					
	■現状維持・継	続 ⇒(2)具体的な改善計画は不要					

評価刈象	干及	平风 4	23年月	Ł	争務	尹	未計	<u>† </u>	1四 衣		<u>く一般用></u>						悿 式 1
事務事業		742	210	事務	林道等	維持	管理事	業				担	1	-		農林水産部	
<u>П</u>	`			事業名								担	뇔	1	詸	林務水産課	
政策	名	3	活フ	力ある産業	きのまちつ	ざくり						グ	ル	_	プ	林務グループ	7 °
施策	名	1	農•	林•水産	業の振興							電	話	番	号	45-5111	
基本事	業名	2	生產	産基盤の	整備							内	線	番	号	2361	
	会計	一角	2会計						#		□ 単年度のみ						
予	款	6	農村	木水産業	費				事業 期間		■ 単年度繰返 (開始年	F虏	Ę		S 2	23 年度~)	
予 算 科	項	2	林美	 と					79111		□ 期間限定複数年度				~)	
Ē	Ш	3	林道	首事業費					根拠法令		林道管理条例						
	コード	742	210						条例等	•	你 但 自任本的						
関連計	画																

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手 段 (事務事業の概要)

市が管理している林道・作業道・作業路の維持補修工事、除草、保守点検など、林道機能の維持 や通行の安全を図ることにより、森林整備の推進や木材搬出経費の削減を図る。

森林施業の管理などで林道を利用する際にパトロールを兼ねて林道の現状を確認し、維持管理 上、危険と判断した箇所について補修工事や除草を実施。

平成23年度実績

林道等の修繕箇所数 35箇所 林道藪払い委託 66,147m 保守点検を行った路線数 89路線

平成24年度計画

林道等の修繕 林道藪払い委託 林道保守点検

な 活

動

2	活動指標 (事務事業の活動量)		単位	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (見込)	25年度 (見込)
ア	林道等の修繕箇所数		箇所	26	35	30	30
1	林道藪払い委託延長		m	183,022	66,147	132,000	132,000
ゥ	林道保守点検		路線	93	89	89	89
3	対象 (誰、何を 対象にしているのか)	④ 対象指標 (③対象の大きさを 表す指標)	単位	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (見込)	25年度 (見込)
ア	霧島市が管理する林道等	市が管理する林道の路線数	路線	93	89	89	89
1	IJ	市が管理する林道延長	m	187,896	177,684	177,684	177,684
ゥ							
⑤	意図 (対象を どうしたいのか)	⑥ 成果指標 (⑤意図の 達成度を表す指標)	単位	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (見込)	25年度 (見込)
ア	適切に管理される	林道利用に関する苦情	件	18	25	25	25
1							
ゥ							
7	結果 (どんな結果に 結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度 を表す指標)	単位	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (見込)	25年度 (見込)
ア	効率的な林業生産基盤が整う	林業生産基盤(林道)の整備率	m/ha	5.9	6.0	6.1	
1							

23年度 24年度 (予算) (決算) 24,215 当初予算額 16,715 算 補正及び流用 58 額 予算合計 16,773 24,215

	国庫補助金	0
	県支出金	0
決算額	地方債	0
額	その他	0
	一般財源	16,603
	支出合計	16,603

(2)事業費

単位:千円 (3)事務事業の環境変化・住民意見等 ① この事務事業は、いつ頃、どのような

きっかけで開始されたのか? 林道は森林管理を図る上で重要な社会基盤 であり、市(及び県)が昭和23年頃から整備を

開始された。

進め、その維持管理を行う事業として本事業が

特になし。

事務事業を取り巻く環境は、開始時期又 は5年前と比べてどう変わったのか?

林道の舗装がされるようになり、施業に利用する人 だけでなく、集落間の移動に利用する人が増えたた め、生活路線へ変化してきている。

③ この事務事業に対して誰からどんな意 見や要望が寄せられているか?

生活路線としての意味合いが出てきたため、 一般利用者から交通安全対策等の強化の要 望が増えてきている。

この事務事業に対する議会から出された 意見

	事業	742210	事務林道事業名	 道等維持管	押 事業				担当部	農林水産	-	
]	ード	742210	事業名	三寸作1寸 台	仕 事未				担当課	林務水産	課	
		*		23年度 ()			年度 (当初			25年度 (月		
1	報	単位:千円 酬	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計	
2	給											
3		 〔手 当 等										
4	共	<u>」」」</u> 済 費										
7	 賃	金										
8	報	償 費										
9	旅	費	58		58							
10	交	際費										
11	需	用 費	5,705		5,705	6,811		6,811				
	消		90		90	86		86				
	燃	料費	629		629	725		725				
	食	料費										
	_	刷製本費 熱 水 費										
	光修	然 小 負 善 繕 料	4 006		4 006	6,000		6,000				
	119	"	4,986		4,986	0,000		6,000				
12	役											
-		信運搬費										
	広	告 料										
	手	数料										
	保	険 料										
13	委	託 料	6,362		6,362	7,840	5,564	13,404				
14		料及び賃借料	2,986		2,986	3,000		3,000				
15		請 負 費										
16		材 料 費	1,492		1,492	1,000		1,000				
17		財産購入費										
18		購入費										
19		補助・交付金										
20 21	<u>扶</u> 貸	<u>助</u> 費										
22		<u>・ 頂及び賠償金</u>										
23		·利子·割引料										
24		及び出資金										
25	積	立 金										
26	寄	附 金										
27	公	課費										
28	繰	出 金										
		計	16,603		16,603	18,651	5,564	24,215				
		国										
	12						5,564	5,564				
	地	方 債										
財源	辺過											
源内		烘 併特例債										
訳		기 년 전 기										
	そ	の他										
			16,603		16,603	18,651		18,651				
		計	16,603		16,603	18,651	5,564	24,215				
4-	* 14. 22	玉										
₹i 	輔助率	県					100					
補	助	基本額										
平	当 :	初 予 算		1	6,715 千円		平成 23 年	度 財源内	訳の「その他	」の内訳		
成		正予算			58 千円							
23	第 1	回		第5回								
	第2			第6回			参加費等の	の事業実施	のための収入	説明		
年 度	第3			第7回								
	第4				10月)	58						
	予 :	算 合 計		1	6,773 千円							

部農林水産部 事務事業 楘 林道等維持管理事業 742210 事業名 抇 当 コード 課林務水産課 評価 評価理由 2 評価の部 **<SEE>** ① 政策体系との整合性 林道及び作業道等の維持補修工事、除草、保守点検を行うご ■ 結びついている とで、林道の機能維持や安全確保が図られ、それにより森林整 ・この事務事業の目的は基本事業の意図 備の推進が図られるため結びついている。 □ 見直す必要がある (基本シートの結果)に結びつくか? 目 ② 公共関与の妥当性 的 ・この事業をなぜ市が行わなければならない ■ 妥当である 林道の維持管理は市の役割であるため妥当である。 妥 のか? □ 見直す必要がある 当 ・税金を投入して、達成する目的か? 性 ③ 対象・意図の妥当性 ■適切である 評 林道は木材の搬出、森林保全管理のための重要な基盤であ □ 対象を見直す必要がある 価 ・対象や意図を限定又は追加すべきか? り、対象及び意図は適切である。 □ 意図を見直す必要がある ④ 成果の向上余地 ■ 向上余地はない 林道の機能及び安全の維持が目的であるため、向上の余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向 (十分に成果が出ている) はない。 上させることができるか? □ 向上余地がある В ⑤ 廃止・休止の成果への影響 有 影響がある ・事務事業を廃止又は休止した場合にどの 森林整備の停滞、山間集落の衰退につながる。 劾 ような影響があるか? □ 影響がない 性 評 (他に手段がある場合の事務事業名等) ⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ■ 他に手段がない 価 ・目的を達成するためには、この事務事業以 外の手段はないか? □ 他に手段がある ・類似事業との統廃合や連携を図ることによ □ 統合できない □ 連携できない 類似事業なし り成果の向上が期待できるか? □ 連携できる □ 統合できる 事業費の削減余地 С ・成果を下げずに事業費を削減できない 林道を交付税対象となる市道に認定するなど、土木課と連携 ■削減余地がない し、事業費の削減を図っている。 か?(仕様や工法の適正化、住民の協力な □ 削減余地がある 劾 淧 ⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 性 やり方を工夫して事務事業に係る業務時 ■ 削減余地がない 簡易な維持管理については職員で対応しているが、これ以上 間を削減できないか? 評 の経費削減は適正な林道の維持管理上、困難である。 ・成果を下げずに職員以外の対応や委託を 価 □ 削減余地がある できないか? ③ 受益機会・費用負担の適正化余地 公 ■ 公平・公正である 受益者は森林所有者、作業従事者及び林道等利用者であ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて 性 り、林道管理は市となっているため公平・公正である。 不公平ではないか? □ 見直す必要がある 評 ・受益者負担が公平公正になっているか? (1)1次評価者(課長)としての評価結果 (2)全体総括(振り返り、反省点) 総 A 目的妥当性 ■ 適切 □ 見直す必要がある 夏場の繁茂期に通行に支障があるとの理由で草払いの依頼があり、市から業者 B 有効性 ■ 適切 □ 見直す必要がある に草払いを委託している。そのほか、林道舗装の凹凸等の改善要望があるため、そ C効率性 ■ 適切 □ 見直す必要がある 括 の都度補修等を行っている。 D 公平性 ■ 適切 □ 見直す必要がある 今後の方向性<PLAN> (1)評価結果にもとづく今後の方向性 (2)廃止又は休止すべきとした場合の理由 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] □ 廃止 □ 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] □ 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] □ 事業統合·連携 [有効性⑥の結果] □ 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] □ 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] 「公平性⑨の結果] □ 公平性改善 ■ 現状維持・継続 ⇒(3)具体的な改善計画は不要 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか (3)具体的な改善計画 ① 平成24年度の取組み概要及び期待される効果 ② 平成25年度に取り組むべき具体的な内容

評価シート <一般用>